

令和3年度 第2回長岡市地域公共交通協議会

資 料

長岡市地域公共交通協議会

令和3年9月24日(金)

■ 第2回協議会の議題

今回の協議会は、「長岡市地域公共交通協議会策定準備業務」内で開催する協議会であり、議題は基本的に同業務に関連する項目のみです。

■ 主旨

令和3・4年度の2か年で策定する計画です。令和3年度は、長岡市の現況整理と並行して、交通流動や利用者ニーズの調査、分析を行います。

今回の議題として、

- ・第1号 長岡市の現況整理
- ・第2号 地域公共交通計画のアンケート調査について
- ・第3号 交通事業者ヒアリング調査

以上3点について、皆様からのご意見をいただきたいと思います。いただいた意見を参考に、10～12月にアンケート調査、交通事業者ヒアリング調査を実施し、令和4年2月に予定しております、次回協議会にて整理した課題をご報告します。

■ スケジュール

検討項目	令和3年度												令和4年度												備考
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
(1)業務計画策定	→																								
(2)上位計画・関連計画との位置づけ整理	→	→	→	→	→	→	→																		
(3)長岡市の現状整理	→	→	→	→	→	→	→																		
(4)交通流動、ニーズの調査・分析				→	→	→	→	→	→	→															
住民アンケート配布					●																				
利用者アンケート配布					●																				
高校生アンケート配布					●																				
ヒアリング調査							●																		
(5)交通施策の課題整理						→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		
(6)長岡市地域公共交通網形成計画の評価											→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		
(7)基本方針の設定											→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		
(8)計画目標の設定											→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		
(9)交通施策・事業の検討											→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		
(10)パブリックコメントの実施																				→	→	→	→		
(11)協議会等の運営支援	→			→						→		→							→		→		→		

協議会やパブリックコメントの意見を踏まえ補足

1. 概要

平成 29 年 3 月に長岡市地域公共交通網形成計画を策定したが、当時から長岡市の人口形態や、公共交通を取り巻く環境が変化している。については、計画策定に適した調査を行うため、最新のデータを分析し、長岡市の現況を整理する。

2. 実施方針

○社会現況の整理

- ・人口（分布、高齢化、将来人口）
- ・市外との流動
- ・主要施設分布（医療、買い物、学校、その他）
- ・観光客（推移、主要施設・イベント）
- ・交通事故
- ・交通実態（道路交通量、混雑状況）
- ・気象状況

○公共交通及び公共交通ネットワークの現状整理

1. 鉄道
 - ・鉄道の利用状況・運行状況
2. 路線バス等乗合交通
 - ・公共交通網、公共交通空白地、補助金
 - ・路線バスの運行状況・利用状況等
 - ・地域生活交通の運行状況・利用状況
3. その他の交通
4. 公共交通の利用環境

長岡市の現況整理

第1章 社会状況の整理

1. 人口

(1) 人口と世帯

長岡市の総人口は、平成17年の合併以降減少しており、令和3年では26.5万人となっています。一方、世帯数は増加しており、令和3年では10.8万世帯です。その結果、1世帯当たりの人数は減少し2.43人/世帯です。平成18年と比較すると約0.5人/世帯減少しています。

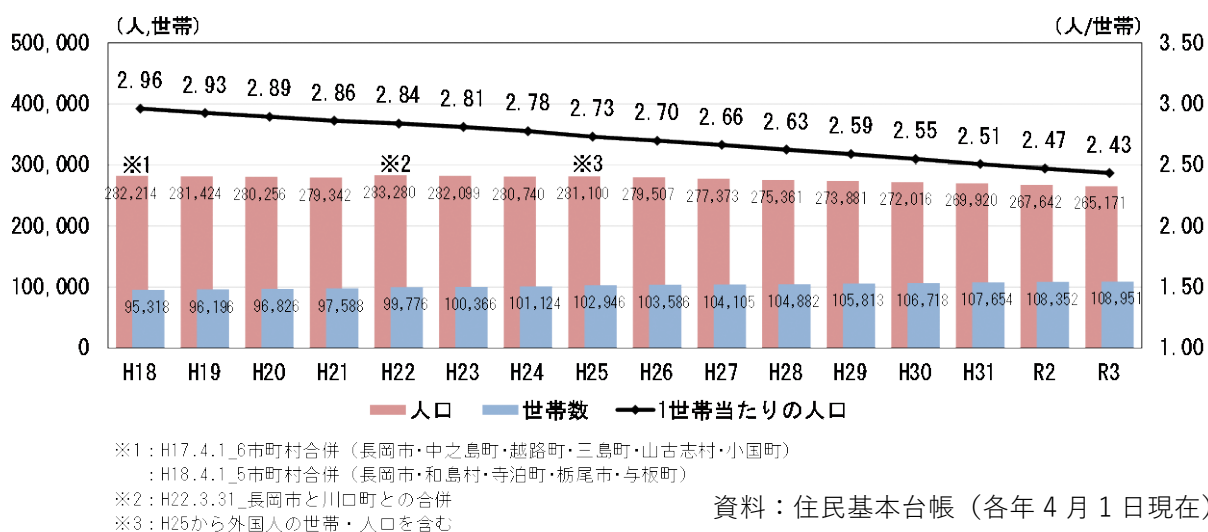
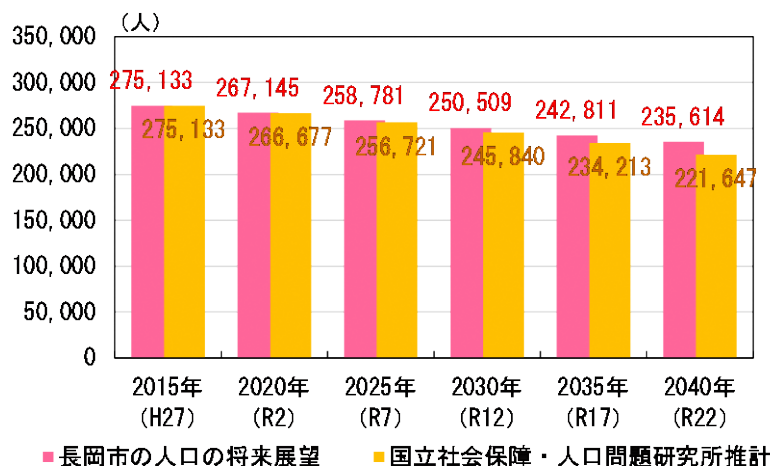


図 人口と世帯数の推移

(2) 将来人口

長岡市の将来人口は更に減少することが予想され、長岡市の将来展望では令和7年には25.9万人と、前述の令和3年と比較すると4年間で0.6万人の減少となることが予想されています。

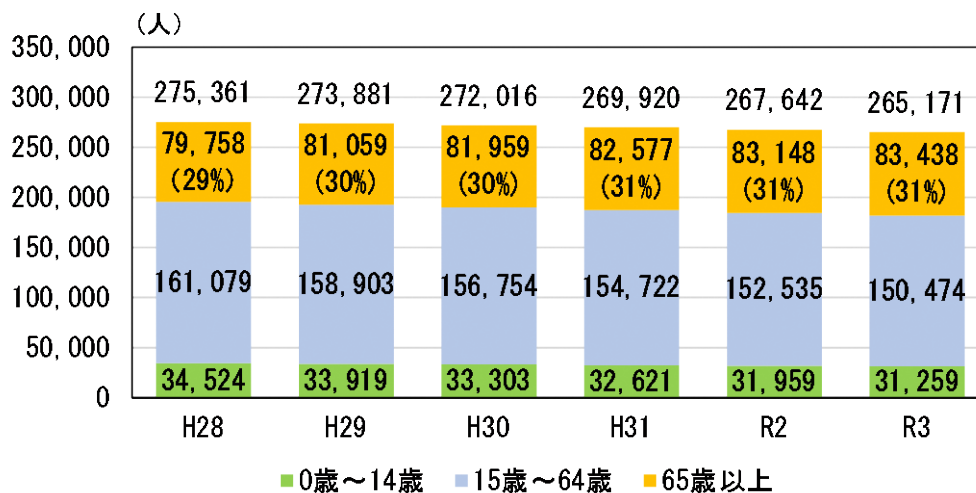


資料：第2期長岡市まち・ひと・しごと創生 総合戦略/人口ビジョン

図 人口と世帯数の推移

(3) 高齢化

人口減少が進んでいる中で、65 歳以上の高齢者は増加しています。そのため、高齢化率は増加しており、令和 3 年では 8.3 万人（高齢化率：31%）です。



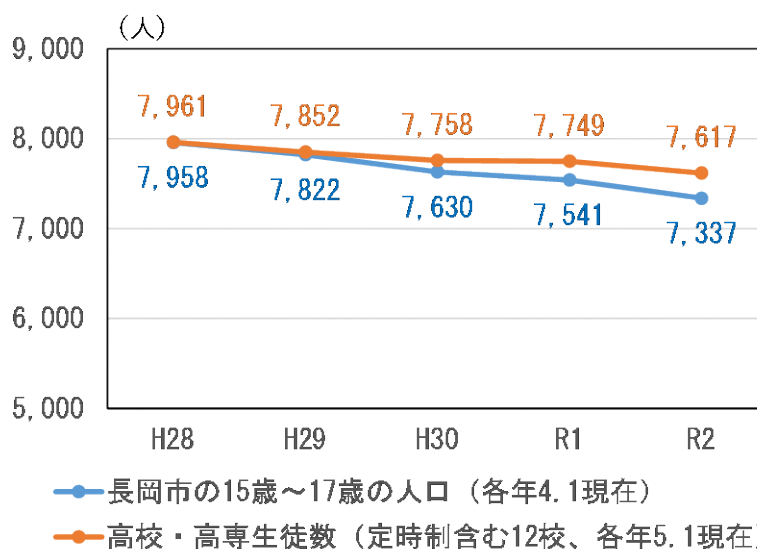
※高齢化率：65 歳以上人口が総人口に占める割合

資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

図 年齢層の推移

(4) 高校生等

全体的な人口減少で、長岡市内の 15 歳～17 歳の人口も減少しており、令和 2 年では約 7,300 人です。また、市内の高校等に通学する生徒数も減少していますが、令和 2 年では約 7,600 人と、市内の 15 歳～17 歳の人口を上回っており、高校生等では、市外から約 300 人の流入超過です。



資料：新潟県教育庁総務課「学校要覧」

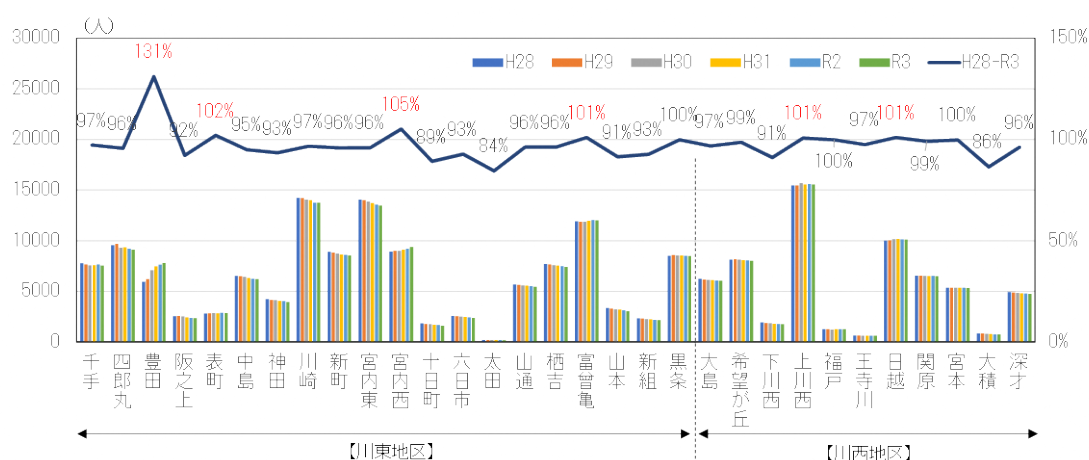
図 高校生相当の人口と高校等生徒数

(5) 地域別

1) 人口

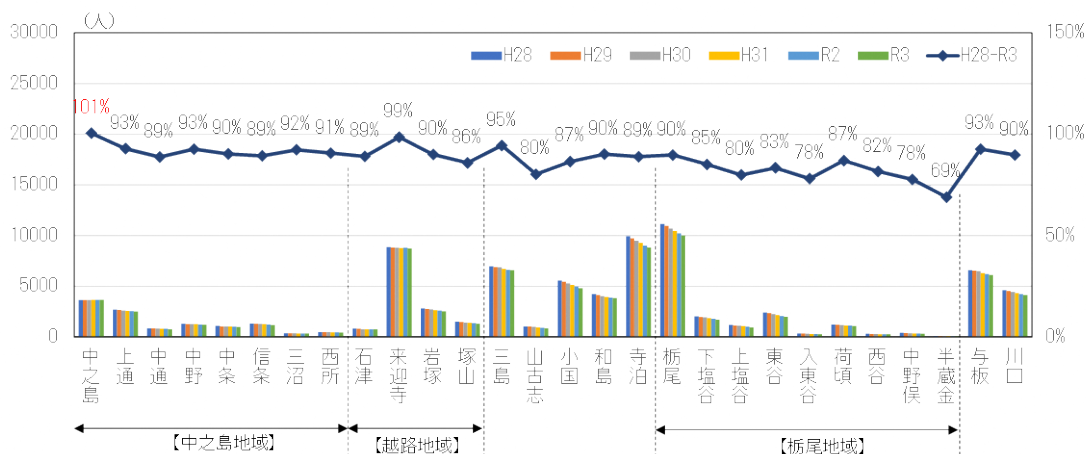
平成 28 年から令和 3 年にかけて全体的に減少していますが、「豊田」「表町」「宮内西」「富曽亀」「上川西」「日越」「中之島」で人口が増加しています。増加率は「豊田」で 131%と大きく増加している理由としては、立川総合病院の移転や、ショッピングセンターのオープンに関連して、新たに宅地開発が行われたためと考えられます。

また、支所地域では、長岡地域（川東地区・川西地区）より人口が少ない中で、増加率も低く、「山古志」「小国」「和島」「寺泊」「栃尾」「川口」では約 70～90%に減少しており、地域によって人口の変化が大きく異なっています。



資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日）

図 人口の推移と増加率（5 年間）

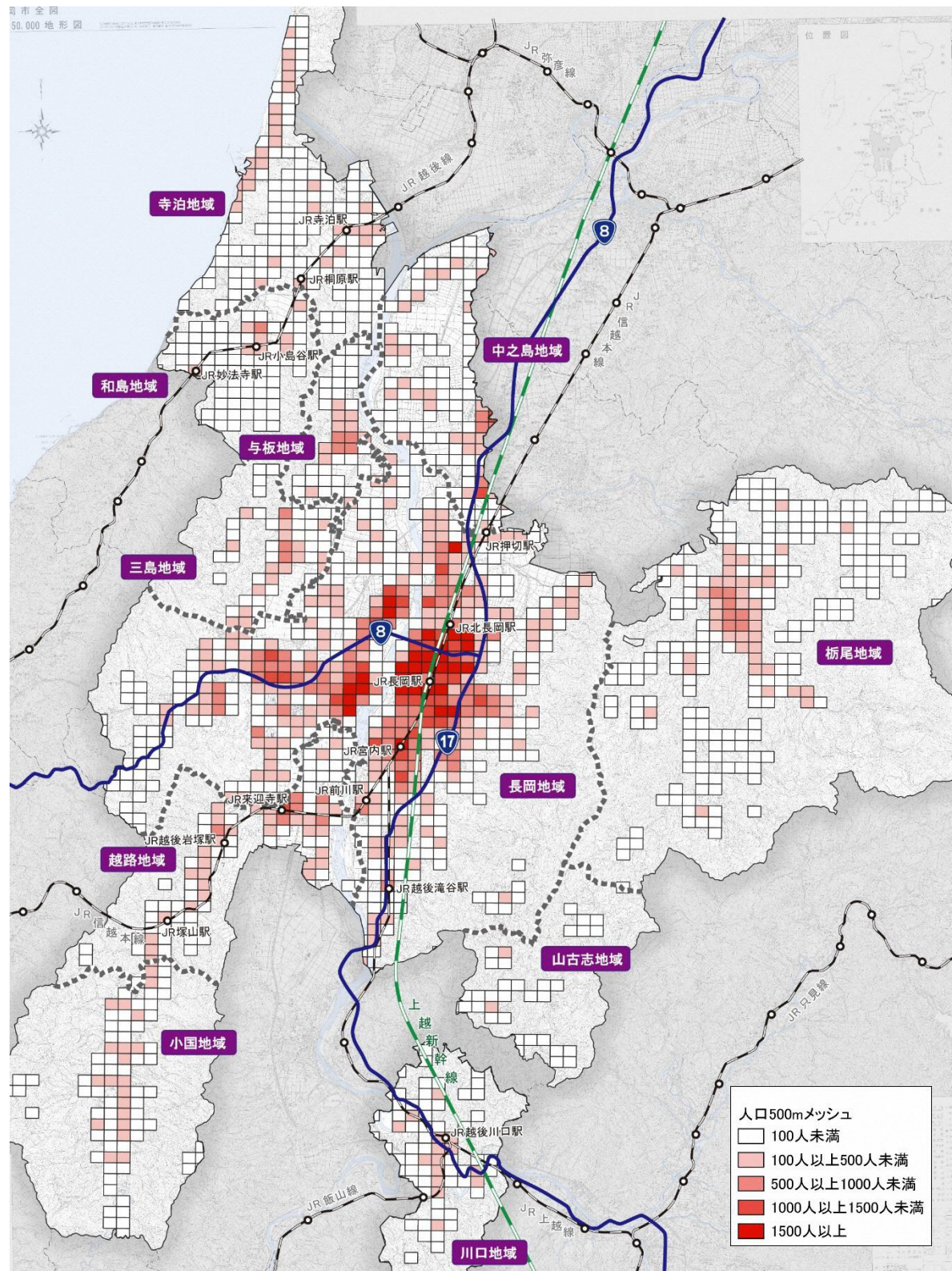


資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日）

図 人口の推移と増加率（5 年間）

■人口分布

長岡地域に人口が集中していますが、各地域内でも人口が多い地域と少ない地域があり、市全体的に人口が広く分散しています。

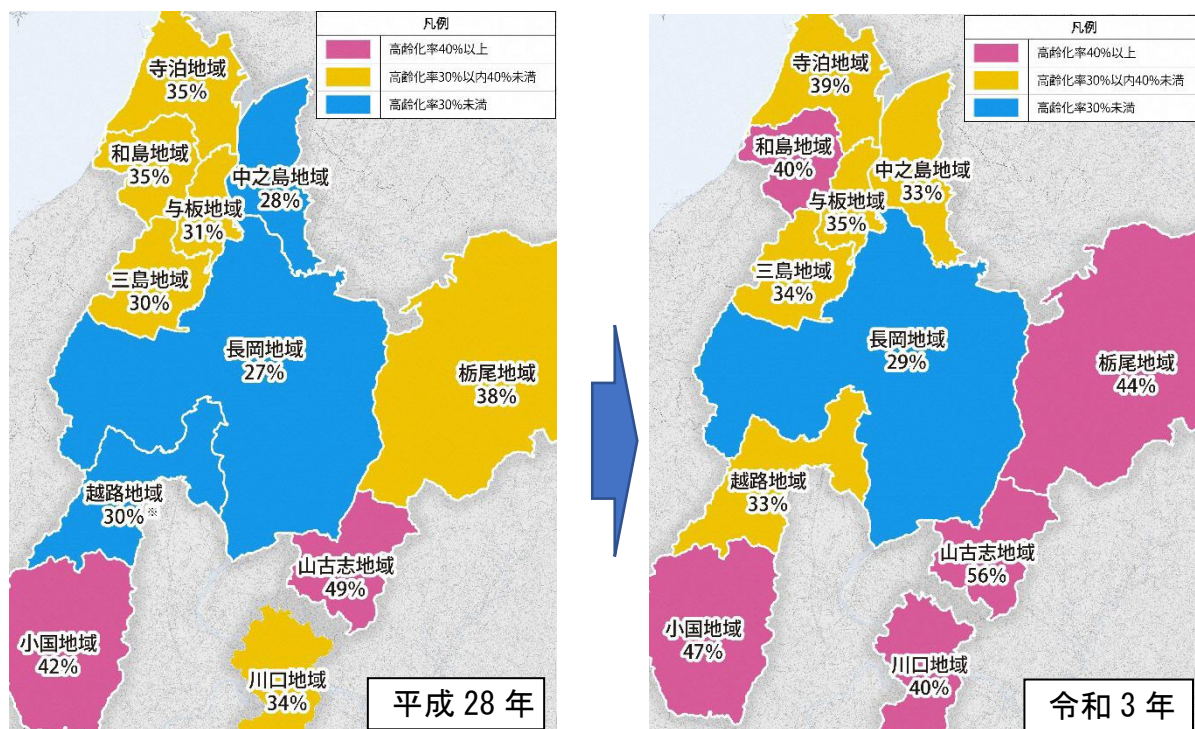


資料：H27 国勢調査

図 人口分布

2) 高齢化

高齢化率は支所地域で高まっており、平成 28 年と比較すると 40%以上の地域が 2 地域から 5 地域に増加しています。また、「中之島」「山古志」「小国」「和島」「栃尾」「川口」地域では、平成 28 年から 5%以上高くなっており、急速に高齢化が進んでいます。尚、令和 3 年現在で 30%未満の地域は、市中心部の長岡地域のみです。



※越路地域は四捨五入により 30%となっています。

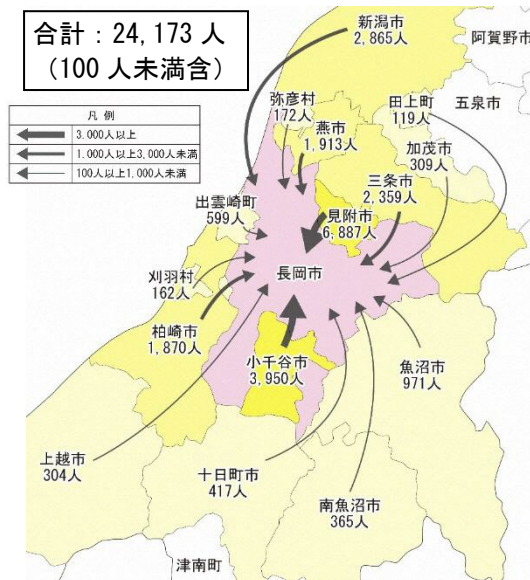
資料：住民基本台帳（各年 4.1 現在）

図 高齢化率の変化

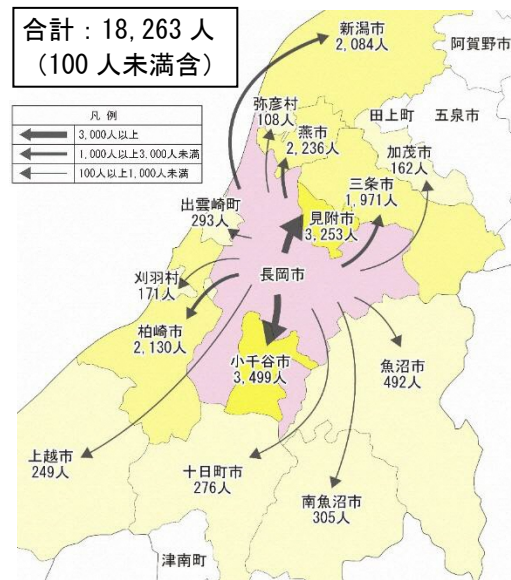
2. 市外との移動

(1) 就業者

流入については、見附市(6.9 千人)が最も多く、次いで小千谷市(4.0 千人)が多くなっています。流出については、小千谷市(3.5 千人)が最も多く、次いで見附市(3.3 千人)が多くなっています。全体として流入人口が約 6 千人多いです。



【長岡市への流入人口】

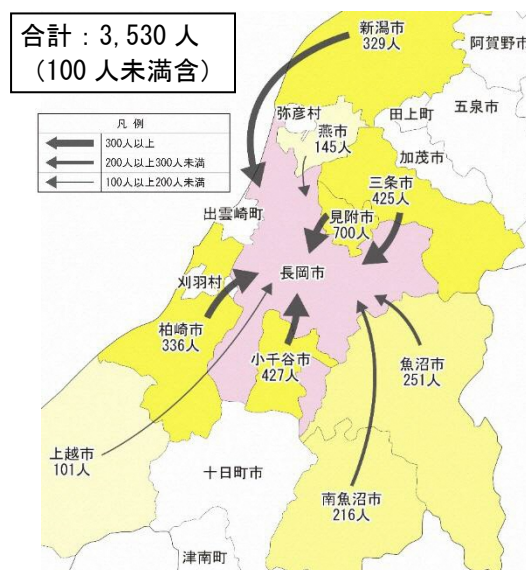


【長岡市からの流出口】

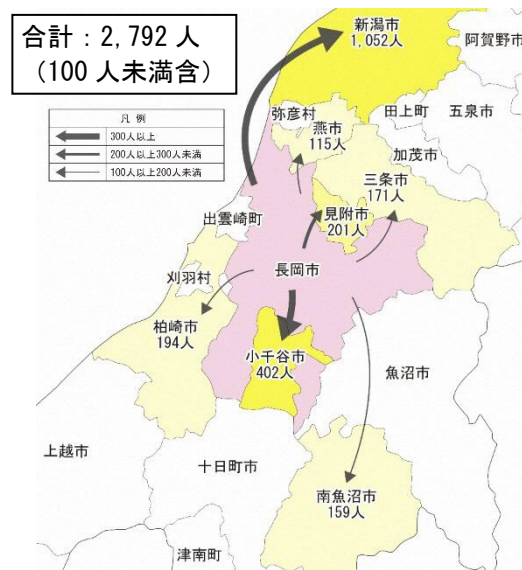
図 15 歳以上の就業者の移動

(2) 通学者

流入については、見附市(700 人)が最も多く、次いで小千谷市(427 人)が多くなっています。流出については、新潟市(1,052 人)が最も多く、次いで小千谷市(402 人)が多くなっています。全体として流入人口が約 700 人多いです。



【長岡市への流入人口】



【長岡市からの流出口】

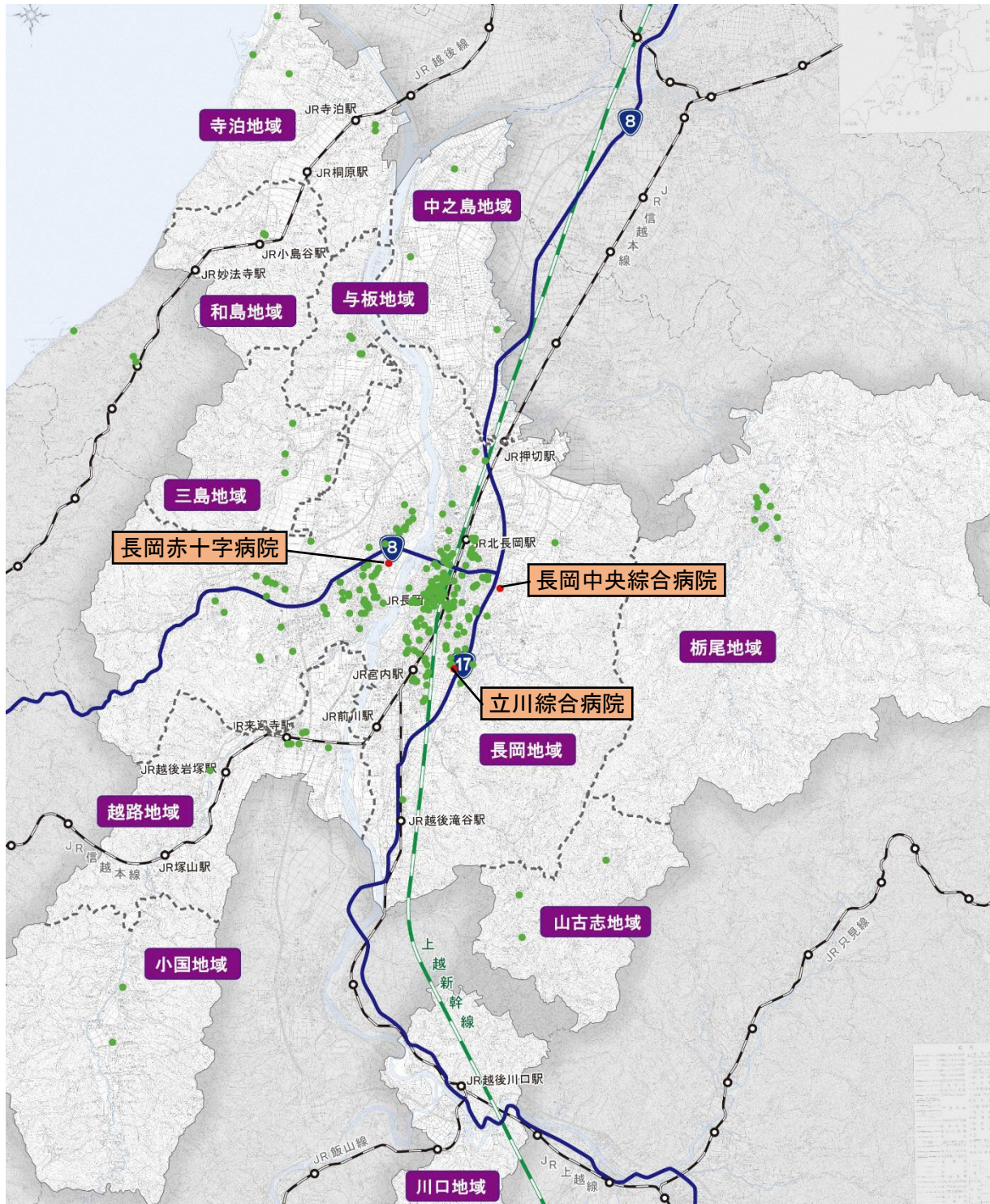
図 通学者の移動

資料：平成 27 年国勢調査

3. 主要施設の分布

(1) 医療施設

医療施設は各地域にもありますが、長岡地域に集中しています。また、主要な病院である「長岡赤十字病院」「立川綜合病院」「長岡中央綜合病院」はいずれも長岡地域にあります。

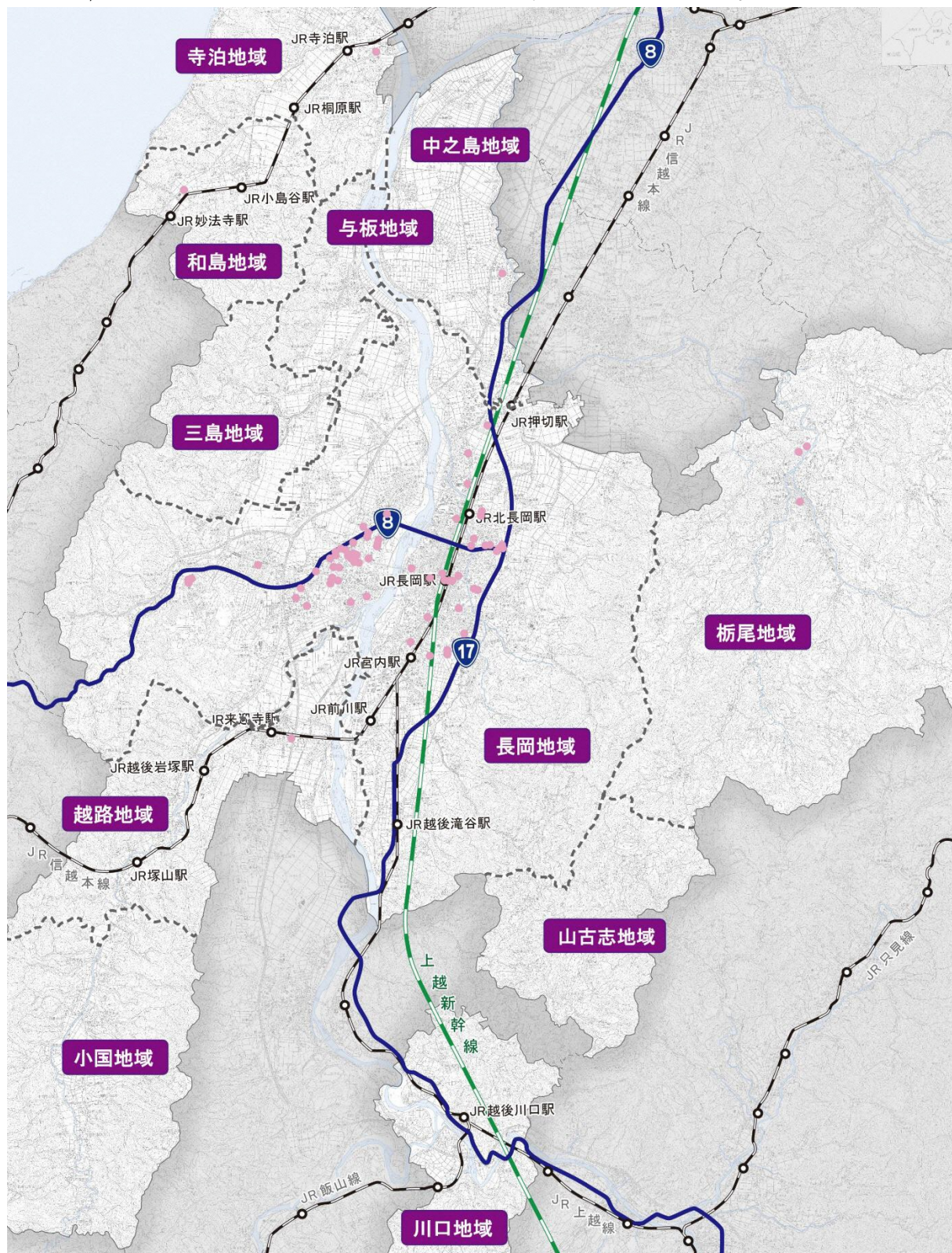


資料：長岡市医師会・歯科医師会

図 施設分布（医療施設）

(2) 買い物施設

1,000 ㎡以上の大規模小売店舗は長岡地域に多く集積しています。

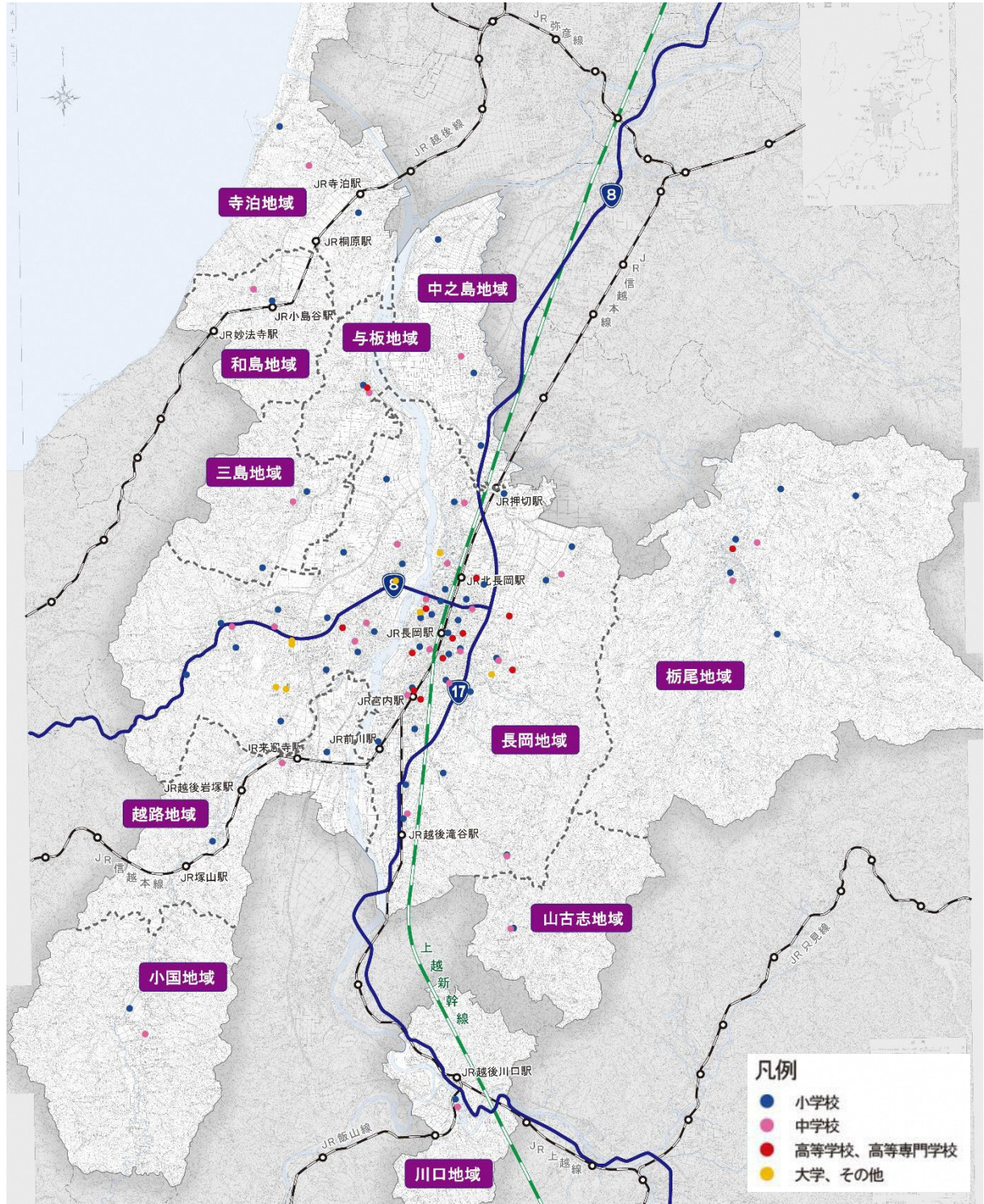


資料：新潟県大規模小売店舗（1,000 ㎡以上）一覧（R2.9 現在）

図 施設分布（買い物施設）

(3) 学校施設

各地域に小学校・中学校があります。高等学校以上の教育機関について、多くは「長岡地域」に集積しているほかは「栃尾地域」と「与板地域」のみです。そのため、市内の高校等の生徒は、「長岡地域」「栃尾地域」「与板地域」への通学となります。



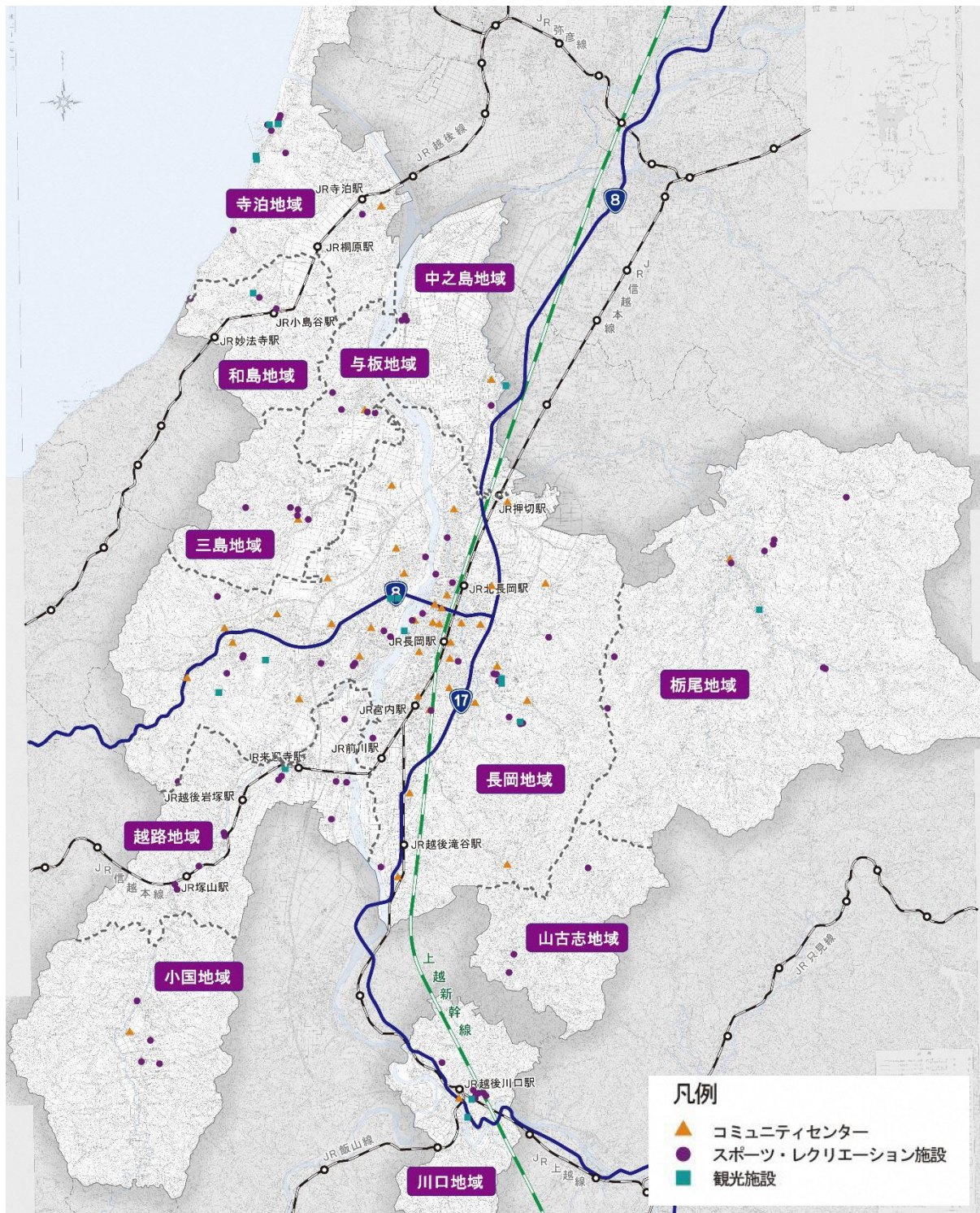
資料 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校：新潟県立教育センターHP

大学、高専）新潟県 HP（新潟県内の高等教育機関）

図 施設分布（学校施設）

(4) その他主な施設（コミュニティセンター、スポーツレクリエーション施設、観光施設）

コミュニティセンターは、長岡地域に多く配置されており、スポーツレクリエーション施設は、各地域に配置されています。また、観光施設は、主に長岡地域、寺泊地域に分散しています。



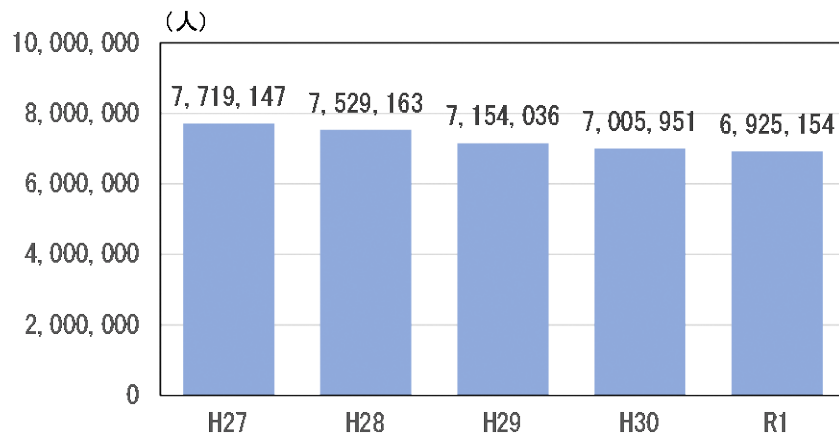
資料 スポーツ・レクリエーション施設、コミュニティセンター：長岡市 HP

観光施設：新潟県観光入込客数（R1）

図 施設分布（スポーツ・レクリエーション施設、コミュニティセンター、観光施設）

4. 観光客

長岡市の観光入込客数は、年々減少傾向にあります。観光入込客数が多い主な施設・イベント等では、「寺泊魚の市場通り」、「長岡まつり」、「国営越後丘陵公園」、「道の駅 R290 とちお」等であり、長岡地域や寺泊地域をはじめ、市内に広く分散しています。



資料：新潟県観光入込客統計

図 観光入込客数の推移

表 主な施設・イベント等の観光入込客数の推移

	H27	H28	H29	H30	R1
県立近代美術館	67,212	330,702	71,517	71,896	77,840
ハイブ長岡（産業展示、雪しか祭り含）	125,456	129,775	135,505	101,461	107,440
県立歴史博物館	43,037	51,166	54,094	64,108	50,752
もみじ園（越路もみじまつり含）	62,980	64,010	69,445	92,470	97,417
水族博物館	115,520	111,380	114,640	107,320	114,550
きんぱちの湯（日帰り入浴）	151,220	142,940	124,980	121,100	127,170
えちご川口温泉	134,154	132,293	130,566	112,429	114,735
国営越後丘陵公園	564,121	497,002	492,721	476,150	459,307
悠久山公園（桜まつり含）	197,830	188,880	189,830	166,130	193,410
道の駅良寛の里わしま	286,420	321,600	314,639	300,590	292,260
寺泊魚の市場通り	1,884,500	1,770,500	1,734,050	1,669,900	1,672,800
道の駅R290とちお	487,900	461,600	474,100	434,100	451,500
あぐりの里	157,179	155,599	141,590	132,456	125,737
長岡まつり（花火大会含）	1,206,000	1,077,000	1,191,000	1,203,000	1,244,000
米百俵まつり	95,000	75,000	83,000	85,000	78,000
見附市今町・長岡市中之島大風合戦	49,000	50,000	49,000	54,000	54,000
寺泊港まつり	102,000	92,000	86,000	86,100	73,000

資料：新潟県観光入込客統計

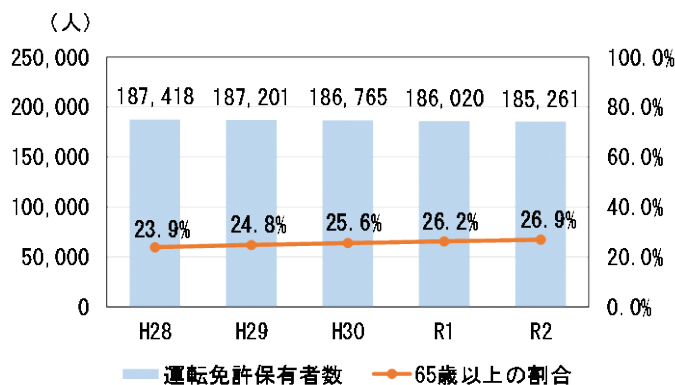
5. 交通事故

人口の減少等の影響もあり、長岡市における免許保有者数は減少していますが、人口減少と反比例し、運転免許を取得している高齢者の割合は増加しています。

また、長岡市における交通事故は減少し、高齢者が関連する交通事故も減少していますが、交通事故全体に占める高齢者事故の割合は増加しています。

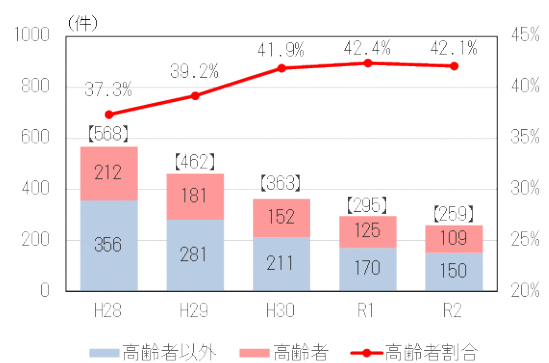
運転免許の返納者数も令和元年から令和2年に減少していますが、平成28年度から全体的には増加傾向にあります。交通事故を更に減少させるためにも、公共交通への転換を促すことも必要です。

長岡市では、免許返納者の公共交通への転換のきっかけづくりとして「高齢者等運転免許自主返納支援事業」を進めています。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、運転免許の返納を控える人が増えたことで支援事業への申請者数も減少しましたが、平成28年度から全体的には増加傾向にあります。



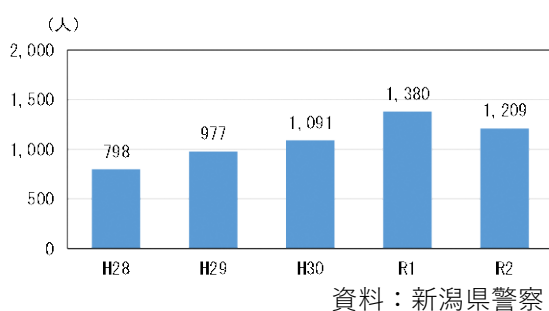
資料：長岡市

図 運転免許保有者数と高齢化率の推移



資料：長岡市

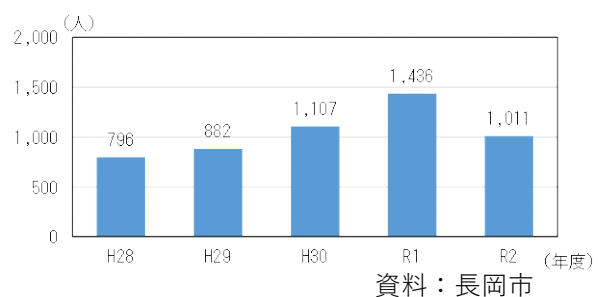
図 交通事故の推移



資料：新潟県警察

図 運転免許返納者数の推移

※各年12月末現在の数値



資料：長岡市

図 高齢者等運転免許自主返納支援事業の申請者

6. 交通量

(1) 自動車交通量の推移

自動車交通量は全体的に平成 17 年から減少傾向にあります。平成 27 年では国道 17 号東バイパスで約 35 千台/日～38 千台/日の交通量が流れています。

信濃川を渡る橋梁では、「長岡大橋」が最も多く約 37 千台/日、次いで「大手大橋」の 22 千台/日となっています。平成 25 年にフェニックス大橋が開通したことにより、平成 27 年における「長生橋」や「大手大橋」の交通量は減少しており、交通量が分散化したと考えられます。一方、「蔵王橋」と「長岡大橋」は増加に転じています。

長岡市は、信濃川で市街地が東西に分断されていることもあり、南北を結んでいる交通量（東バイパスの交通量）より、東西を結ぶ交通量（橋梁の交通量）の減少量は少ないです。このことから、東西を結ぶ（信濃川を渡る）公共交通、移動手段の確保の必要性は高いです。

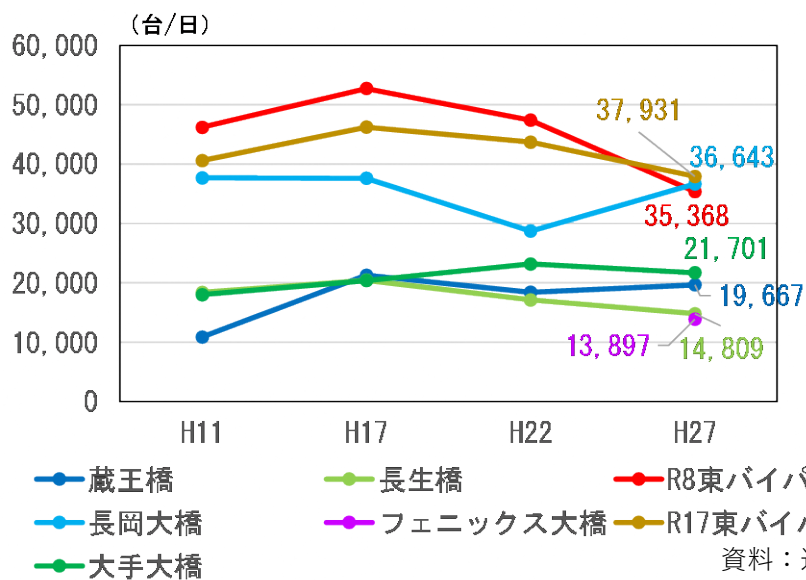
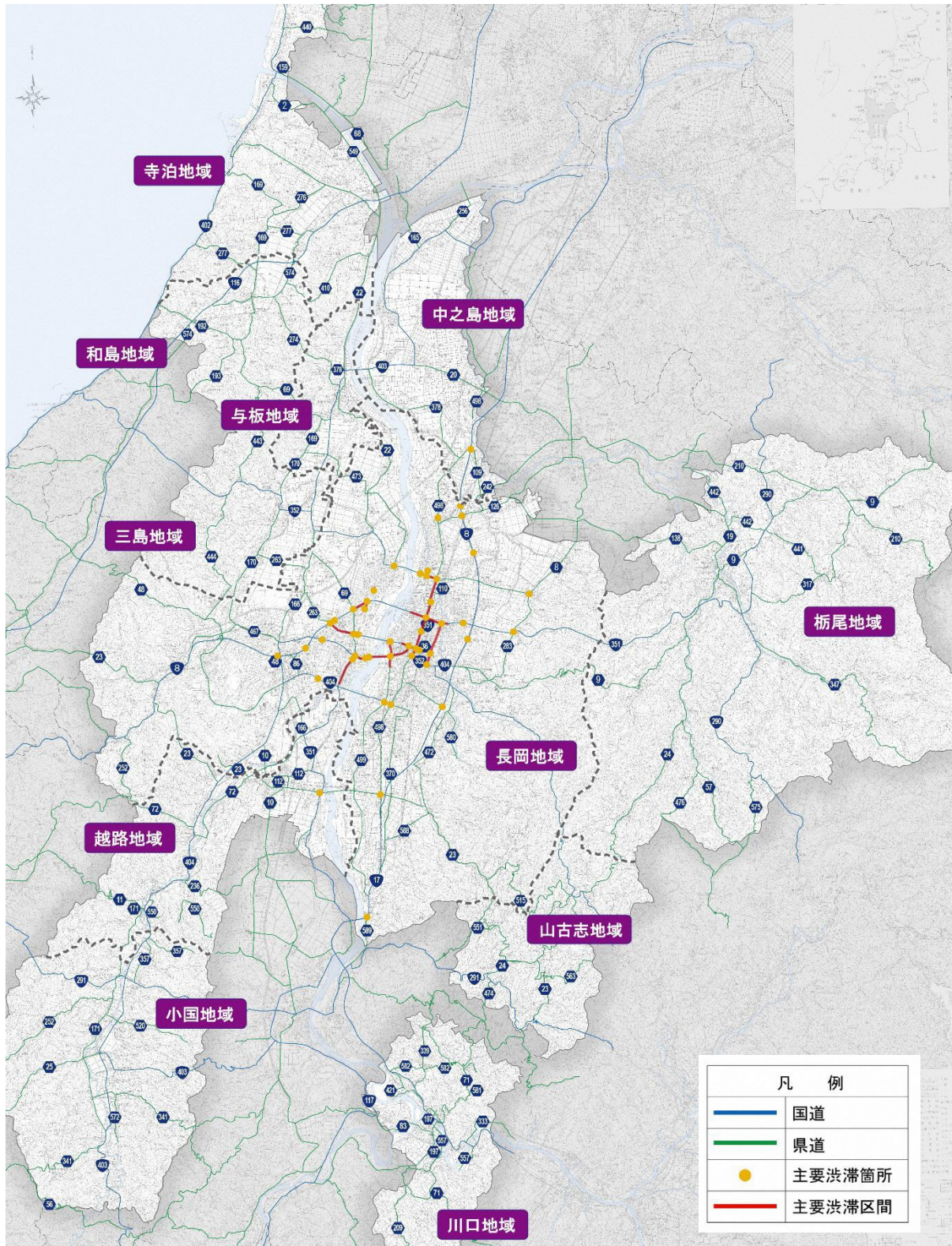


図 主な調査地点の交通量の推移

(2) 道路の渋滞状況

長岡地域の中心部で信濃川を挟み両側で主要渋滞箇所・主要渋滞区間があります。これらの地点では、路線バスが運行されております。



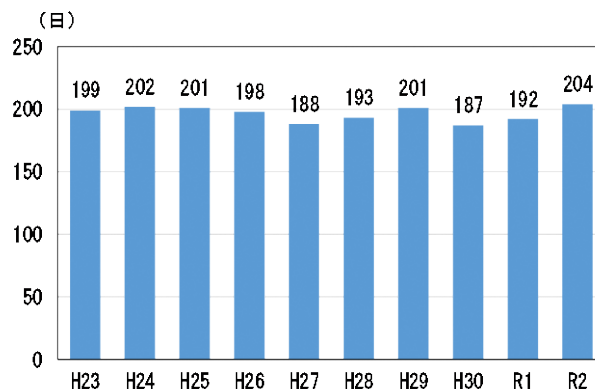
資料：新潟県渋滞対策協議会

図 道路の渋滞状況

7. 気象

(1) 降雨

長岡市では、年間およそ 200 日の降雨日があります。公共交通利用者の待合環境を改善する上屋整備の効果や、通常時は徒歩・自転車等で外出する方々が雨天時に公共交通へ転換することによる利用者数の増加に留意する必要があります。



資料：気象庁

図 降雨日数の推移（日降水量 1mm 以上）

(2) 降雪

長岡市では、年間の降雪日数が減少傾向ですが、一時的に積雪量が多くなる時期もあります。そのため、降雪量が多い場合の公共交通の運行の確保や運行情報の提供など、降雪時における対応が必要です。

また、地域によって降雪量に大きな差があり、各地域で公共交通の利用環境が異なると考えられるため、各地域住民が対象となるよう調査を行う必要があります。

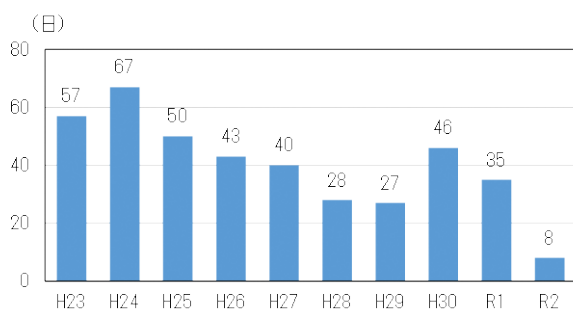


図 降雪日数（長岡観測所）

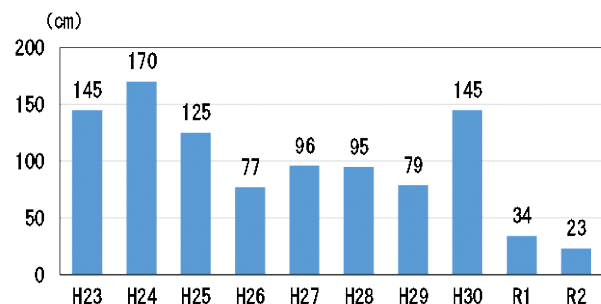


図 最深積雪（長岡観測所）

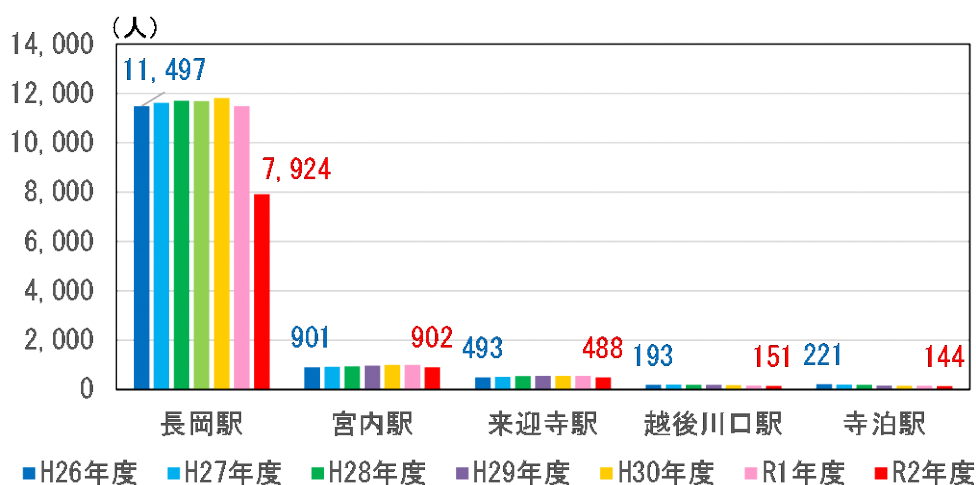
資料：気象庁（寒候年（前年 8/1 から当年 7/31））

第2章 公共交通の現状

1. 鉄道

(1) 利用者数（乗車人員）

長岡市内に鉄道（JR）の旅客駅は14駅あり、有人駅は5駅です。1日当たりの乗車人員は平成26年と比較すると新型コロナウイルスの影響もあり減少傾向です。もっとも乗車人員が多い長岡駅でも7.9千人/日です。



資料：JR 東日本

図 1 日当たりの乗車人員

(2) 運行便数

鉄道の運行便数は、上越新幹線は新潟方面、東京方面とも25便/日の運行です。在来線は、長岡駅から新潟方面の運行が65便/日（特急しらゆき含む）ですが、柏崎方面は49便/日、上越線は34便/日、また越後線は約20便/日です。平成29年と比較しても大きな変化はありません。

表 鉄道の運行便数

単位：便/日

			長岡駅		宮内		来迎寺		越後川口		寺泊		小島谷	
			H29.4	R3.6	H29.4	R3.6	H29.4	R3.6	H29.4	R3.6	H29.4	R3.6	H29.4	R3.6
	方面	区間	便数	便数	便数	便数	便数	便数	便数	便数	便数	便数	便数	便数
JR上越新幹線	新潟方面		26	25										
	東京方面		26	25										
JR信越本線	新潟方面	長岡⇔新潟方面	54	55										
		特急しらゆき	10	10										
	柏崎方面	長岡⇔柏崎方面	38	39	36	37	37	38						
		特急しらゆき	10	10										
JR上越線		長岡⇔越後湯沢方面	29	30	29	30			29	30				
		長岡⇔十日町方面	4	4	4	4			4	4				
JR越後線											22	22	20	20

資料：JR 時刻表

2. 路線バス等乗合交通

(1) 全体

1) 公共交通網

長岡市では、路線バスの他、地域生活交通が「山古志」「小国」「和島」「寺泊」「栃尾」「川口」の6つの支所地域で運行されています（寺泊は令和3年10月～実証運行）。

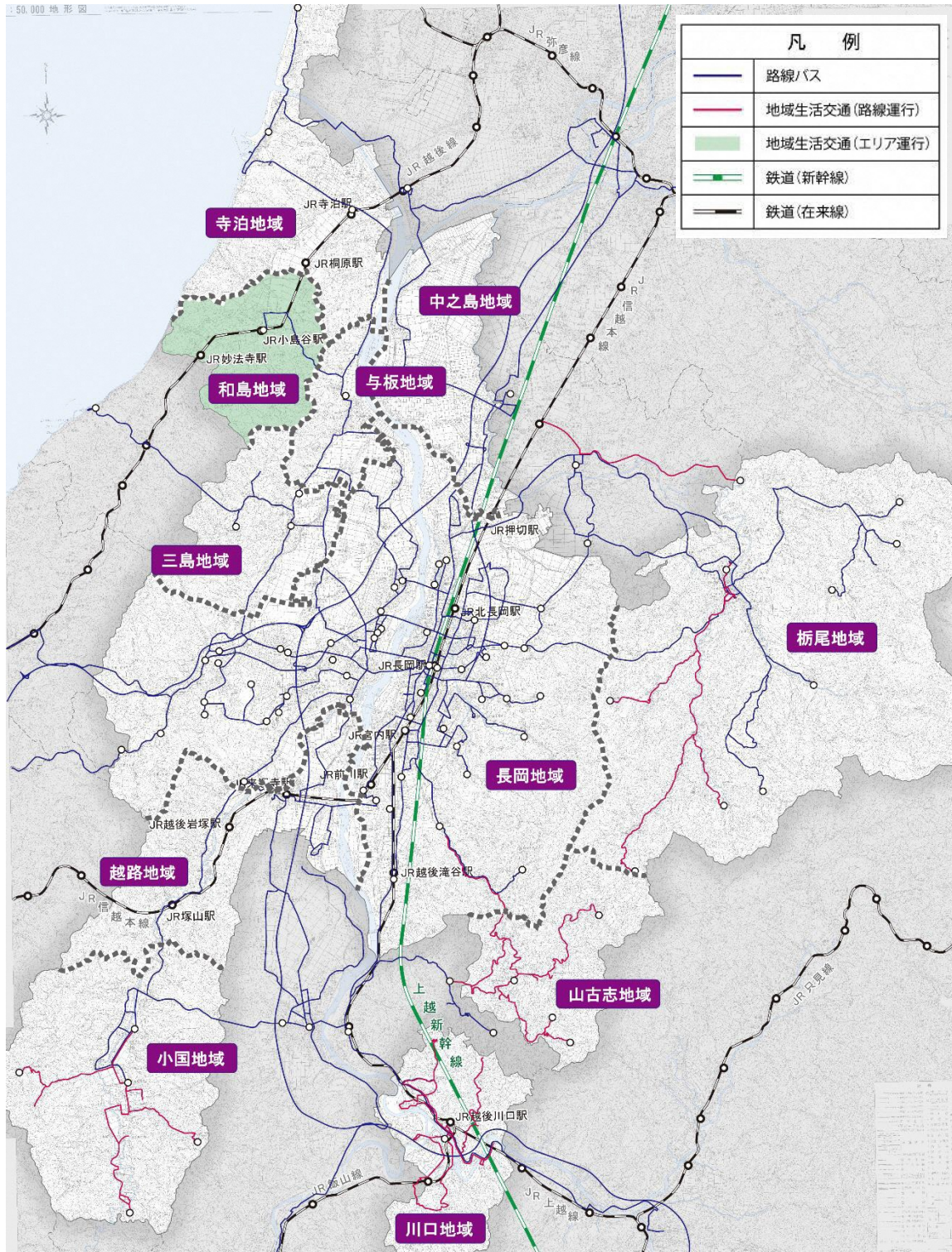
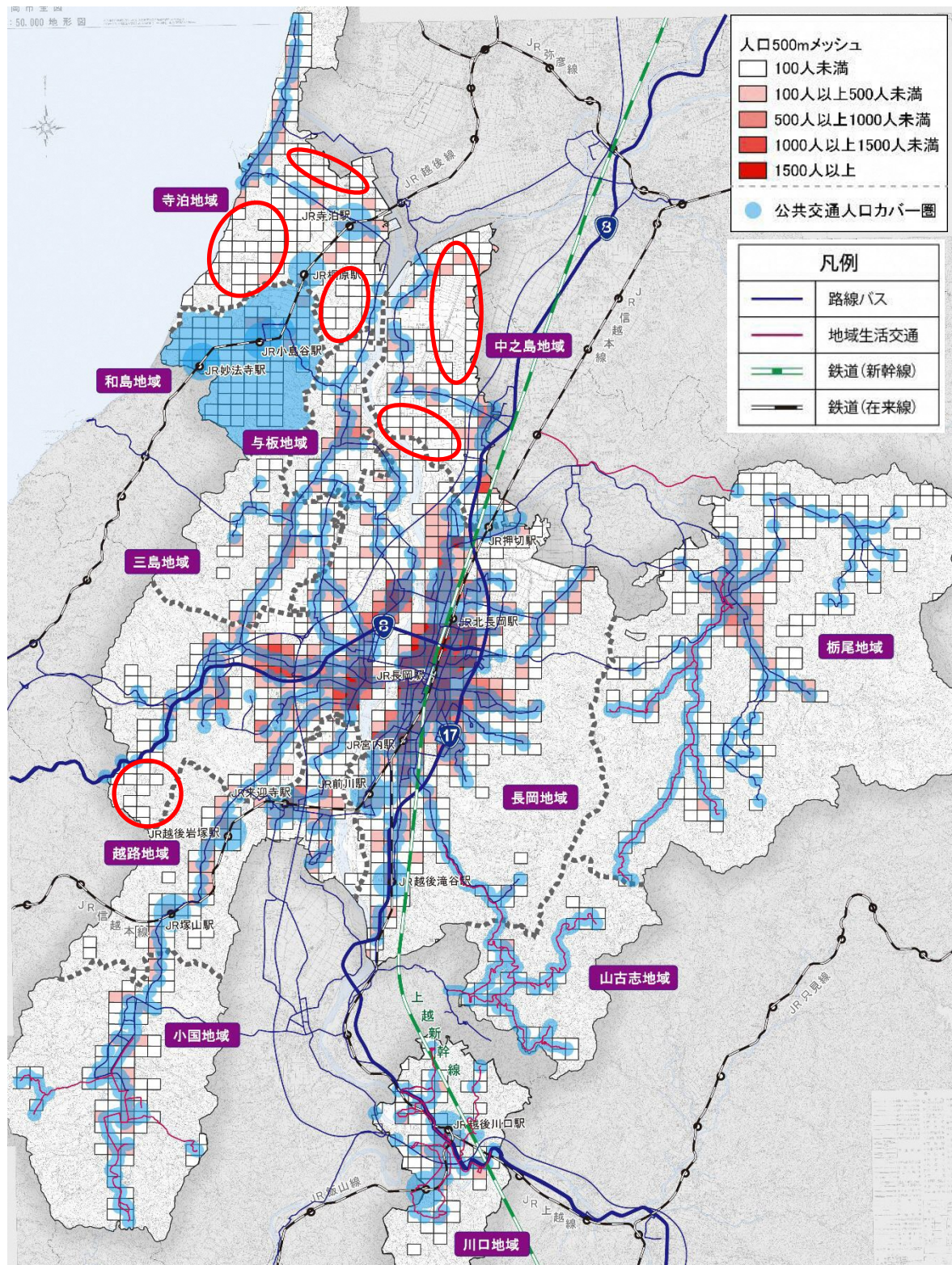


図 公共交通網

2) 公共交通空白地

「和島」地域で地域生活交通がエリア運行を開始したため、公共交通がカバーできていない公共交通空白地は、「寺泊」、「中之島」地域や、長岡地域の一部にまとまって見られます。（寺泊は令和3年10月～実証運行）



3) 補助金（長岡市）

運賃収入を補填するため、一部路線に運行補助金を充当しています。路線バスの利用者は年々減少していますが、運行効率化を図りながら、長岡市が負担する補助金は、ほぼ横ばいの約 1 億円です。

また、地域生活交通についても同様に運行補助金を充当しています。運行の効率化等の見直しにより、補助金も減少傾向ですが、令和 2 年度は必要な便数の増便等を行い、令和元年度と比較し増加しました。

長岡市の補助金は、令和 2 年度では路線バス、地域生活交通で約 1.6 億円を充当しています。

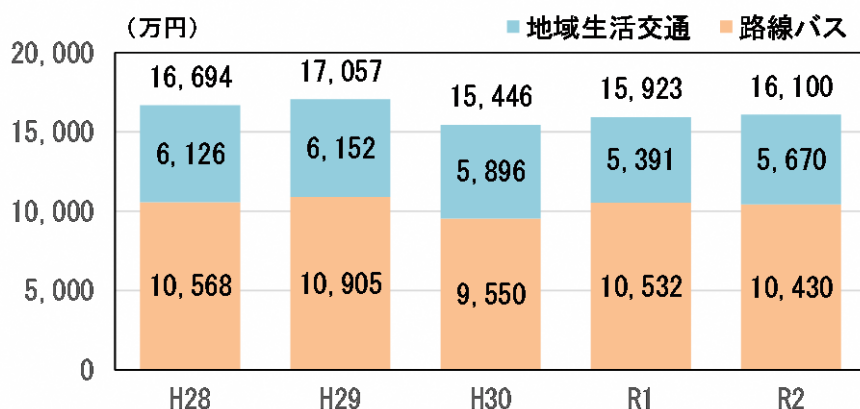


図 長岡市補助金の推移

※地域生活交通の補助金は、「山古志」「小国」「川口」の運行の合計であり、「和島」「栃尾」の実証運行の経費を除く

(1) 路線バス

1) 利用者数

路線バスの利用者は年々減少しており、令和元年度では一般乗合バスでは 489 万人の利用となっており、平成 23 年度と比較すると約 120 万人減少しています。なお、以下データは越後交通本社、東長岡営業所分のみのデータ（統計年鑑参照）です。

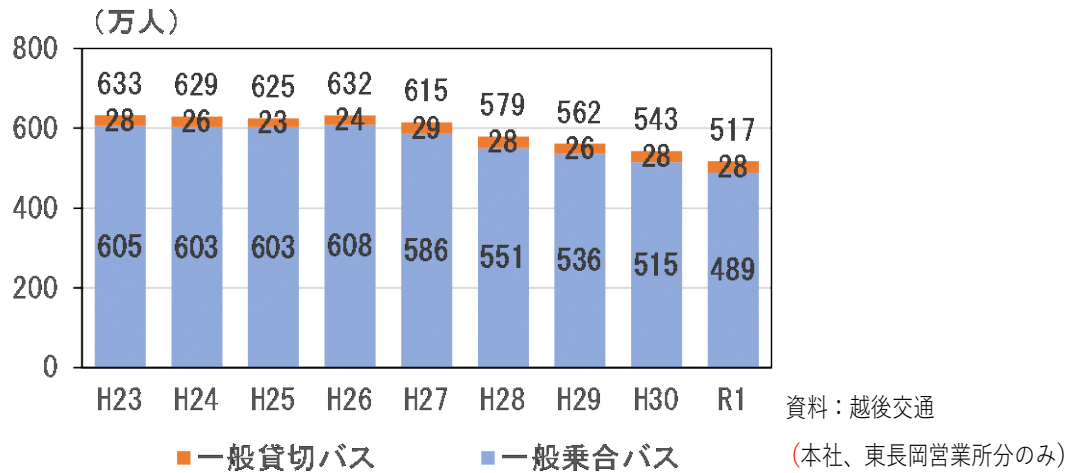


図 バスの利用者数

2) 運行便数

路線バスの運行便数は、利用者数の減少の影響や、栃尾地域での地域生活交通への切り替えもあり、平成 29 年と比較すると平日で約 210 便、休日で 130 便の減少となっており、路線バスの運行の維持が難しくなっています。

表 路線バスの運行便数

		H29		R3				H29		R3	
		平日	休日	平日	休日			平日	休日	平日	休日
長岡駅前 大手口 発着	長岡駅前＝十日町線	39	27	29	23	長岡駅前 東口 発着	長岡駅前東口＝成願寺線	15	10	13	10
	長岡駅前＝小千谷車庫前線	17	14	17	14		長岡駅前東口＝悠久山線	103	95	102	94
	〈急行〉長岡駅前＝小千谷車庫前線	31	26	31	26		長岡駅前東口＝柿線	30	24	28	24
	法務局前＝道の駅ながおか花火館線	103	83	100	78		長岡駅前東口＝立川綜合病院	58	33	47	29
	長岡駅前＝江陽団地 環状線	33	27	30	24		宮内環状線	16	6	10	4
	長岡駅前＝蓮花寺・出雲崎線	27	20	25	17		宮内川崎環状線	4	0		
	長岡駅前＝与板線	12	9	12	9		宮内駅角＝長岡駅前東口	2	0		
	長岡駅前＝来迎寺線	6	2	6	2		川崎環状線			4	0
	長岡駅前＝小国線	21	12	18	12		東長岡駅前東口＝長岡中央綜合病院	66	37	64	36
	長岡駅前＝柏崎駅前線	33	28	28	24		長岡駅前東口＝上見附線〔川崎経由〕	40	23	46	26
	長岡駅前＝田代線	82	54	78	52		特急〈快速〉長岡駅前東口＝栃尾線	36	22	31	18
	長岡駅前＝与板線	23	16	23	16		長岡駅前東口＝上見附線〔新町経由〕	29	23	28	23
	長岡駅前＝越後丘陵公園線	31	23	31	24		長岡駅前東口＝福島・稲保線	9	3	11	4
	長岡駅前＝ニュータウン・県立歴史博物館線	58	50	46	40		長岡駅前東口＝栖吉線	22	15	18	14
	中央環状線（内回り・長岡大橋先回り）	24	24	11	11		長岡駅前東口＝滝谷線	18	13	18	15
	中央環状線（外回り・長生橋先回り）	25	25	10	10		長岡駅前東口＝高龍神社（逢平）線	20	15	12	10
	長岡駅前＝宮内本町線	8	7	9	7		長岡駅前東口＝宮内線	55	39	49	34
	長岡駅前＝免許センター線	10	0	3	0	栃尾・ 見附 地区	栃尾＝律谷・入塩川・梅之俣線	14	10	14	10
	長岡駅前＝東三条駅前	40	25	34	21		栃尾＝栃堀・栗山沢線	16	12	16	14
	〈急行〉長岡駅前＝栃尾線	33	24	30	22		上見附車庫＝下塩線	10	4		
	長岡駅前＝分水駅前線	16	12	12	8		栃尾＝半蔵金・新山・榎井沢線	6	4		
	長岡駅前＝小島谷駅前線・寺泊線	39	28	38	26		栃尾＝見附＝浦瀬＝長岡駅前東口線	48	27		
	長岡駅前＝エコトピア寿線	15	10	13	10	合計		1391	1002	1179	872
	江陽環状線	18	17	18	17						
	長岡駅前＝宝町線	30	24	16	14						

3) 路線別輸送実績

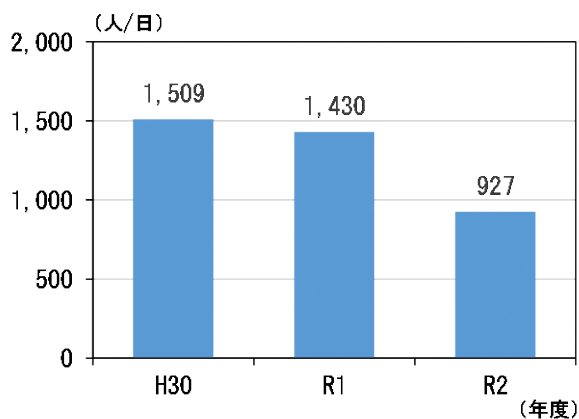
路線別の利用実績を分析したところ、学校関連の路線は利用者・運行目的が明確であることから、収支率が高くなっています。このことから、学生の移動需要は収支に大きく影響することがわかります。一方で、支所地域と市外を結んでいる路線などは収支率が低く、見直しを検討する必要性が高い路線があります。

収支率が高い路線・・・長岡駅 ⇄ 江陽団地
長岡駅 ⇄ 柏崎方面（田代）
長岡駅 ⇄ 越後丘陵公園
長岡駅 ⇄ 基幹病院（長岡中央総合病院、立川総合病院）
長岡駅 ⇄ 悠久山
学校関連便（向陵高校、商業高校線）

（令和元年度輸送実績を参照）

4) 県内高速バス

高速バスの県内路線バスの利用者数は減少傾向であり、特に令和2年度は新型コロナウイルスの影響等により、対前年度比30%超減少しています。県内高速バスは、通勤や通学などで利用する方がいることが想定され、生活交通の一部となっていると考えられます。



※年間14日調査の平均値

資料：越後交通

図 高速バス（新潟⇄長岡線）の利用者数

(2) 地域生活交通（コミュニティバス）

1) 山古志地域

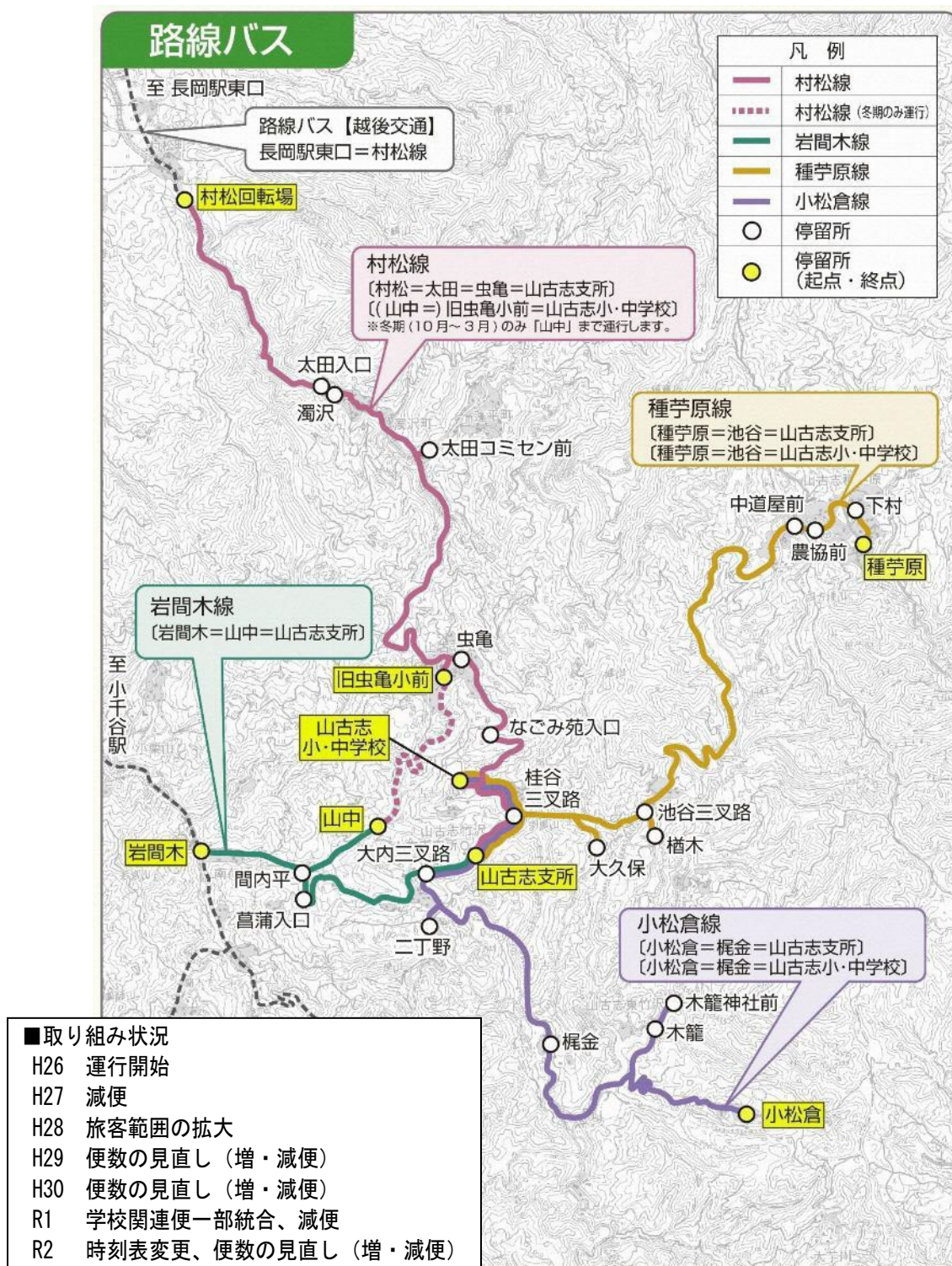
① 運行内容

運行主体：NPO 法人中越防災フロンティア

運行形態：コミュニティバス（クローバーバス）

運賃：大人 200 円、小学生 100 円、回数券、定期券

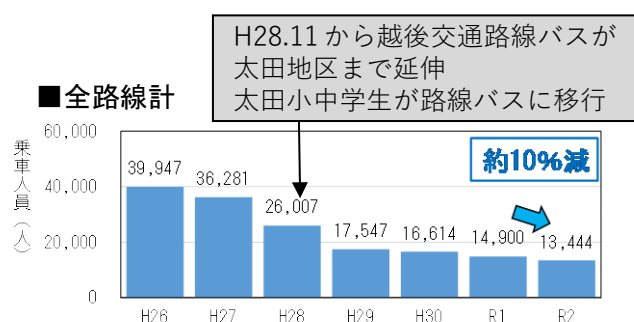
運休日：日祝、年末年始（12/29～1/3）、お盆（8/14～8/16）



②利用状況

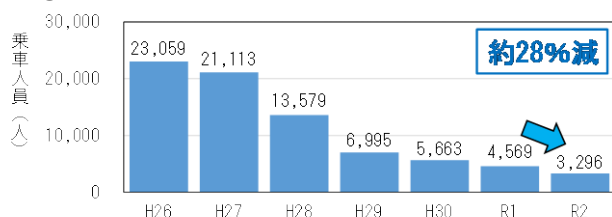
利用者は年々減少しており、令和元年度と比較して全路線計では約10%減となっています。路線別では、村松線が約28%減、岩間木線が約3%増、種芋原線が約2%減、小松倉線が約2%減となっています。

令和2年度の利用者減少の要因は、新型コロナウイルスの影響が考えられ、人口減少、特定の高齢者利用の減少、運転できる高齢者の増加、少子高齢化による小・中学生・高校生利用の減少などが考えられます。一方、岩間木線の増加の要因としては、利用する高校生が増加したためと考えられます。

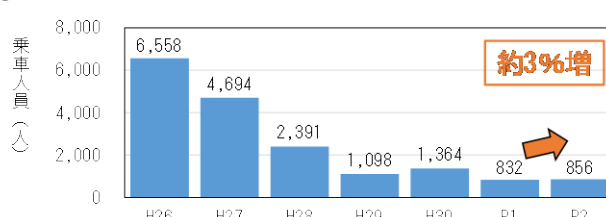


■各路線別

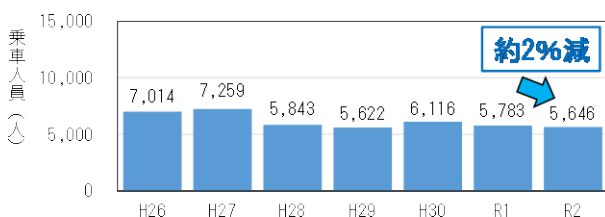
①村松線



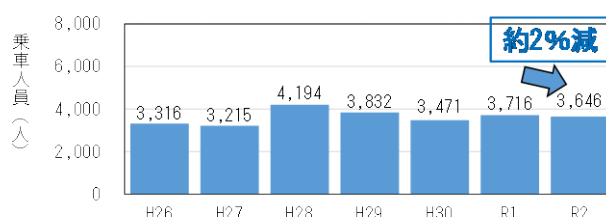
②岩間木線



③種芋原線



④小松倉線



2) 小国地域

①運行内容

運行主体：NPO 法人 MTN サポート

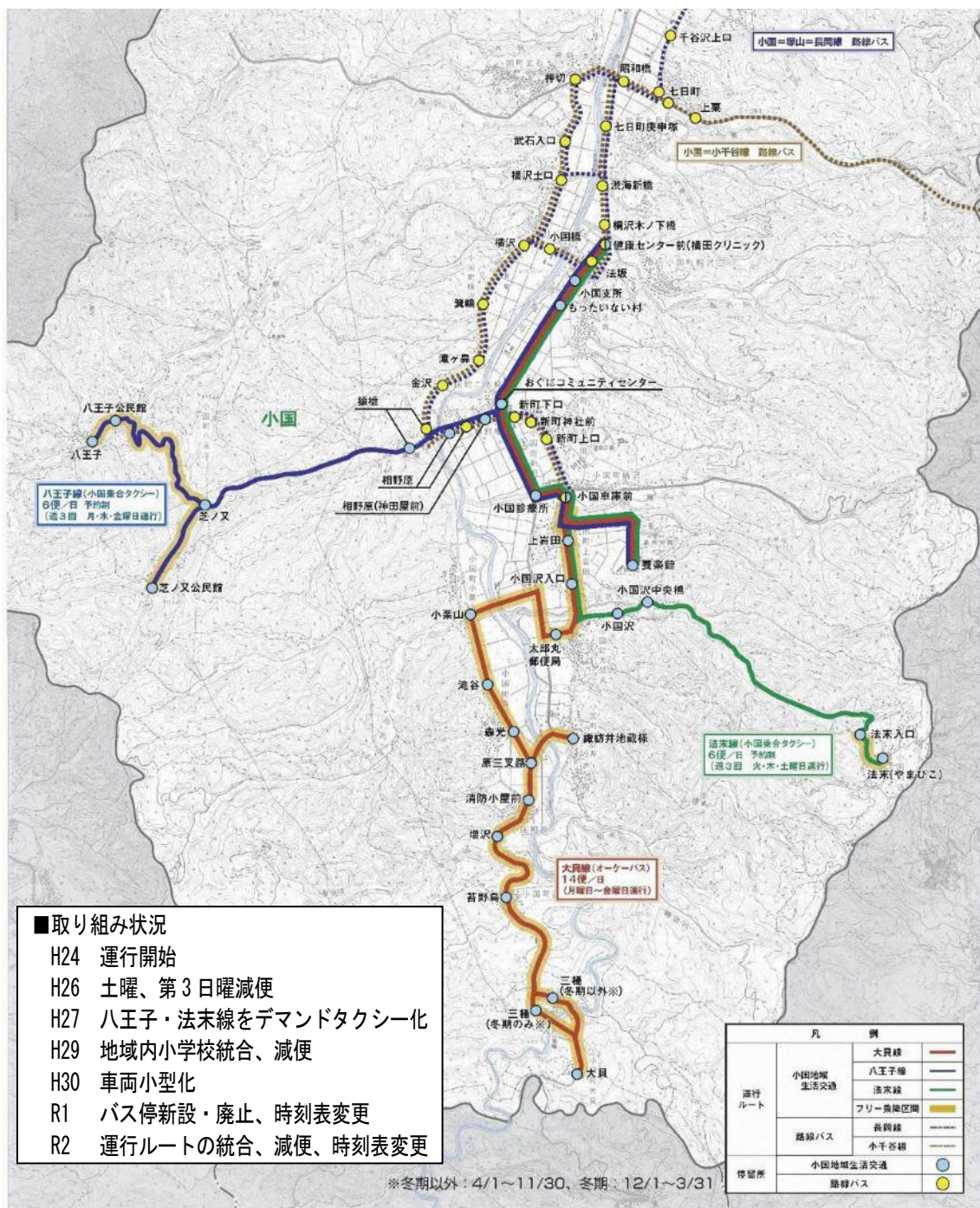
運行形態：【大貝線】コミュニティバス（オーケーバス）

【八王子線、法末線】乗合タクシー

運賃：大人 200 円、小学生 100 円、大貝線のみ回数券、定期券

運休日（大貝線）：土日祝日、お盆（8/14～15）年末年始（12/31～1/3）

運行日：八王子線 月・水・金、法末線 火・木・土

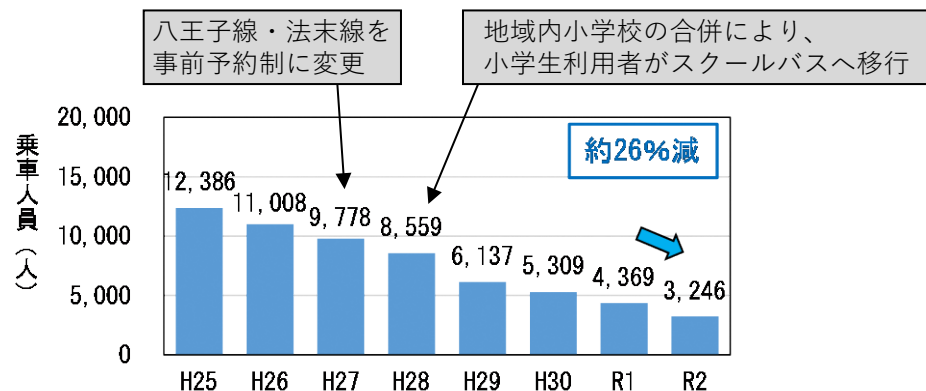


②利用状況

乗車人員は年々減少しており、令和2年度は令和元年度と比べて全路線計では約26%減となっています。路線別では大貝線が約25%減、八王子線が約30%減、法末線が約34%減となっています。

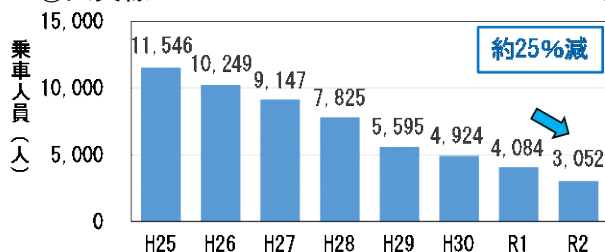
令和2年度の利用者減少の要因としては、新型コロナウイルスの影響や、人口減少、少子高齢化による中学生利用の減少、特定の高齢者利用の減少、運転できる高齢者の増加などが考えられます。

■全路線計

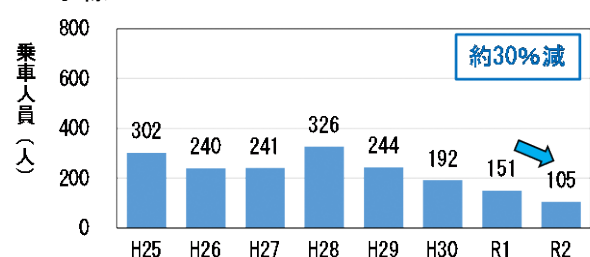


■各路線別

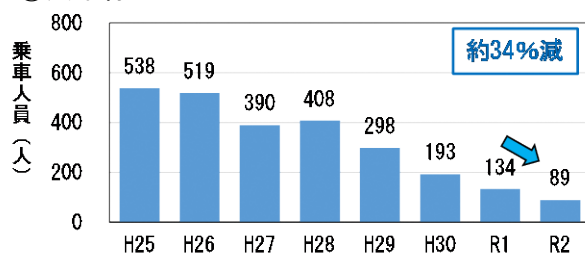
①大貝線



②八王子線



③法末線



3) 川口地域

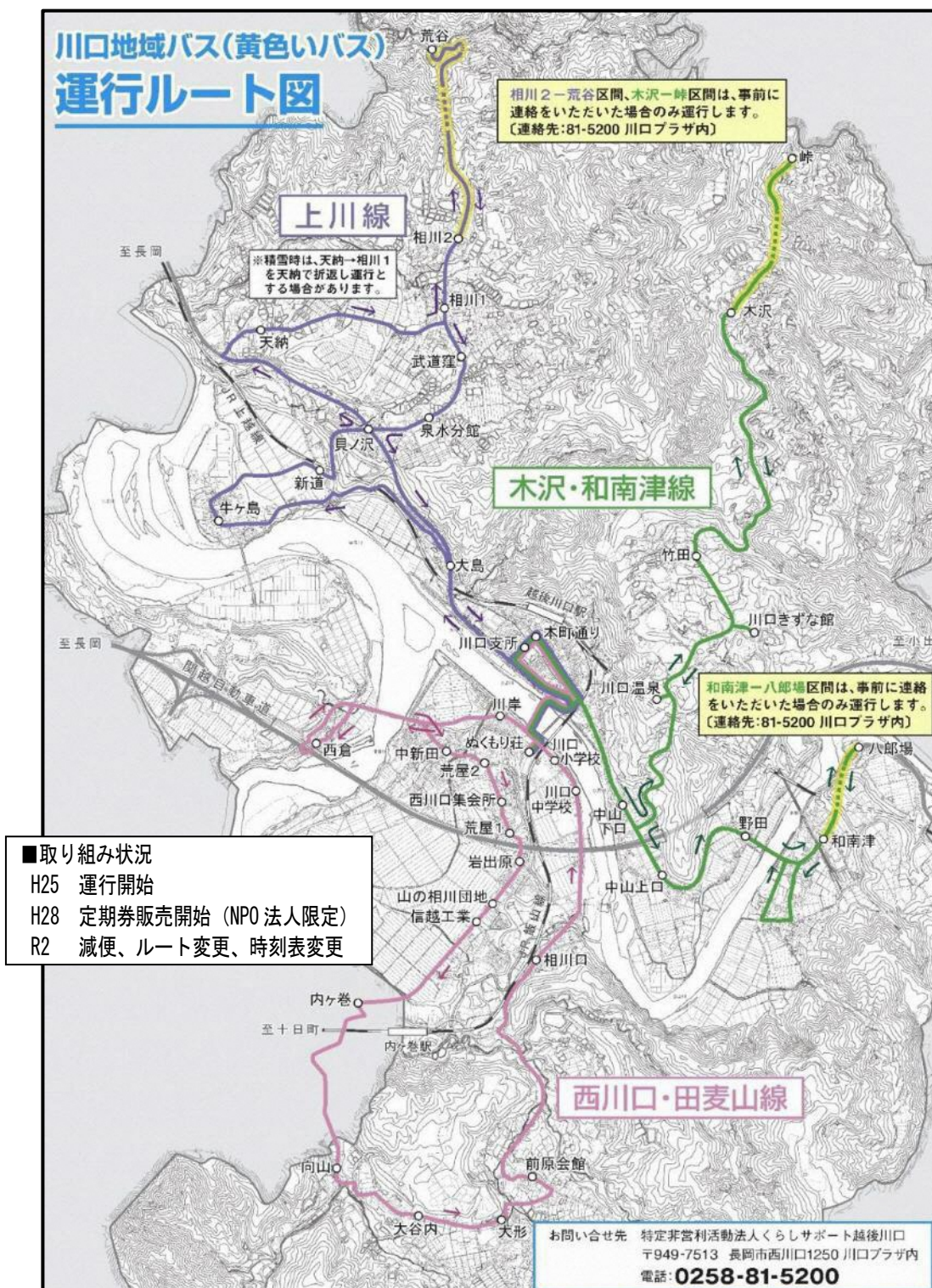
①運行内容

運行主体：NPO 法人くらしサポート越後川口

運行形態：コミュニティバス（黄色いバス）

運賃：大人 200 円、小学生 100 円、回数券、定期券（NPO 会員限定）

運休日：土日、年末年始（12/31～1/3）

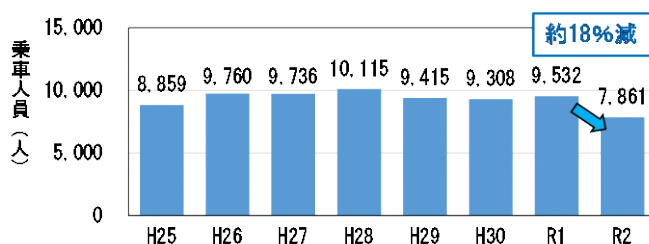


②利用状況

利用者は平成28年度をピークに減少傾向にあり、令和元年度と比べて全路線計では約18%減少しています。路線別では、西川口・田麦山線が約50%減、上川線が約14%減、和南津・木沢線が約31%増です。

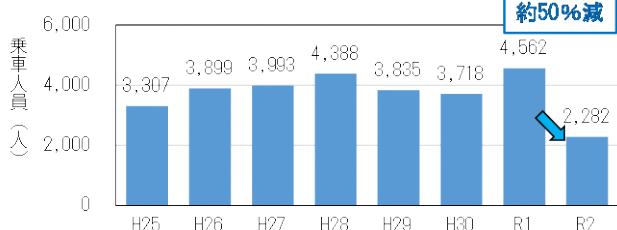
これは、運行順序の変更により、西川口・田麦山線の利用者が減少し、和南津・木沢線の利用者数が増加したと考えられます。また、西川口・田麦山線、上川線の利用者数減少の要因として、新型コロナウイルスの影響で高齢者の外出頻度が低下したことが考えられます。加えて、ゲートボール場などの屋内施設が一時閉鎖されたことによる影響や、温泉や買物等で利用していた方が外出を控えたことも一因であると考えられます。

■全路線計

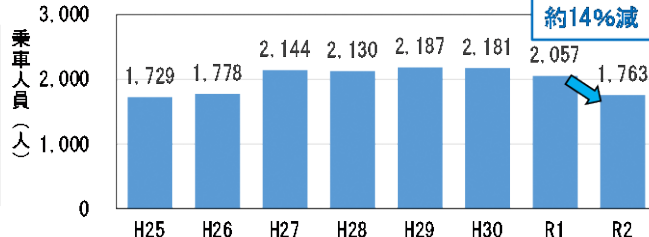


■各路線別

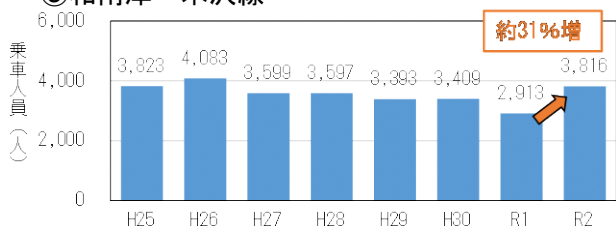
①西川口・田麦山線



②上川線



③和南津・木沢線



4) 和島地域

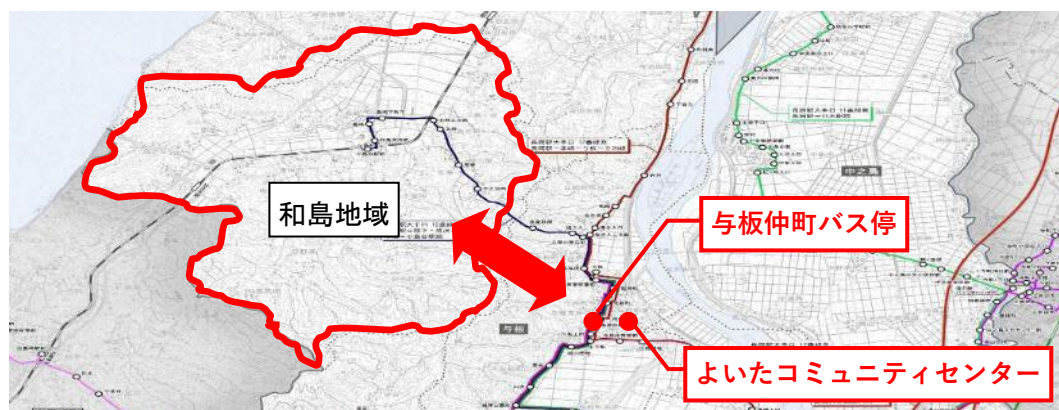
公共交通空白地が広がる和島地域では、令和 2 年度からデマンド型乗合タクシー（わし麻呂号）の実証運行を開始しました。比較的用户が多い午前便に絞ったうえで、令和 3 年 10 月から本格運行を開始します。

①運行内容

表 和島地域デマンド型乗合タクシー本格運行

期間	令和 3 年 10 月 1 日～
根拠法令	道路運送法第 4 条
運送事業者	寺泊交通(株)
使用車両	ジャンボタクシー車両（乗客 9 名定員） 1 台 小型タクシー車両（乗客 4 名定員） 1 台
運行区域	和島地域（地域全域） 与板地域（よいたコミュニティセンター、与板仲町バス停）
運行頻度	毎週 火・木・金曜日 8 時～12 時毎時便、14 時便 ※14 時便については毎週金曜日のみ運行 火・木 5 便/日 金 6 便/日 (祝日及び 12/29～1/3 は運休)
利用方法	電話による事前予約制
運賃	和島地域内 200 円 和島地域～与板地域 2 地点 500 円
乗降位置	停留所は指定せず、ドアツードア運行 与板は乗降場所指定

■令和 3 年 10 月～本格運行区間



②利用状況

実証運行期間は需要を把握するため、設定便数を変えながら試行錯誤しましたが、本格運行を想定した時間帯に絞ると、全体として稼働率約 37%、延べ利用者数 378 人です（令和 2 年 10 月～令和 3 年 8 月）。地域内で運行する鉄道、路線バスを補足する移動手段としても利用されています。

※参考資料をご覧ください。

5) 寺泊地域

寺泊地域では、令和 3 年度からデマンド型乗合タクシー（まりん号）の実証運行を実施する予定です。

① 運行内容

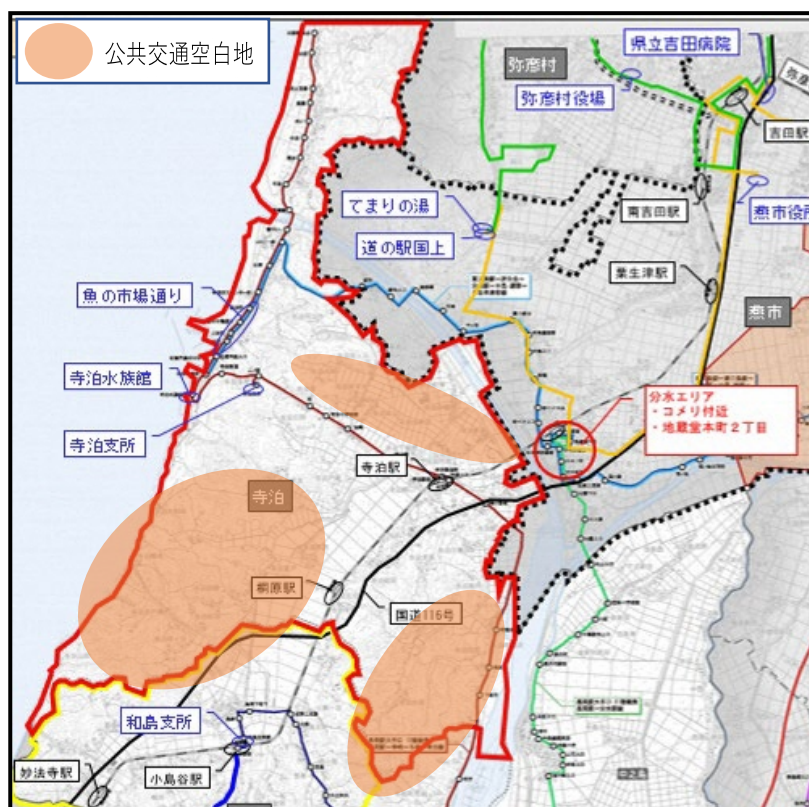
寺泊地域では、令和2年10月「長岡市寺泊地域生活交通検討委員会」を設立し、令和3年10月より実証運行開始予定（最長1年間）

表 寺泊地域デマンド型乗合タクシー実証運行

期間	令和 3 年 10 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日
根拠法令	道路運送法第 2 1 条
運送事業者	タクシー事業者
使用車両	ジャンボタクシー車両（乗客 9 名定員） 1 台 小型タクシー車両（乗客 4 名定員） 1 台
運行区域	寺泊地域（地域全域）、燕市分水地区（2 地点[コメリ付近、地藏堂本町 2]）
運行頻度	週 3 日（月・水・金） 8 時 30 分～14 時（5 便/日予定）
利用方法	事前予約制
運賃	寺泊地域内 200 円 寺泊地域～分水地区 2 地点 400 円
乗降位置	停留所は指定せず、ドアツードア運行 分水地区は乗降場所指定

■実証運行区域

寺泊地域全域（赤線内）＋燕市分水地区（2地点を目的地指定）



6) 栃尾地域

令和元年9月末にバス路線が一部廃止された地域において、令和元年10月からデマンド型乗合タクシー（景虎号）の実証運行を開始しました。令和3年3月末日に残っていたバス路線荷頃線も廃止され、4月から本格運行に移行しました。

通勤利用者が4月からデマンド型乗合タクシーに移行したこともあり、利用者数は大きく増加しており、廃止された路線バス利用者の代替交通として機能しています。通勤、通学等の定期利用は公共交通の利用に大きく影響するため、利用者の維持に努める必要があります。

①運行内容

期間	令和3年4月1日～
根拠法令	道路運送法第4条
運送事業者	タクシー事業者
使用車両	ジャンボタクシー車両(乗客9名定員)1台 小型タクシー車両(乗客4名定員)1台
運行頻度	土日祝日含む毎日 1日6便
利用方法	電話による事前予約制
運賃	移動距離に応じて設定(200円～600円)
乗降位置	基本的に停留所での乗降とする。



②利用実績

【実証運行】

期間	令和元年10月～令和3年3月
利用者数	3,404人
運行便数	1,723便(計画便数2,740便)
稼働率	62.9%

【本格運行】

期間	令和3年4月～8月
利用者数	1,679人
運行便数	718便(計画便数918便)
稼働率	78.2%

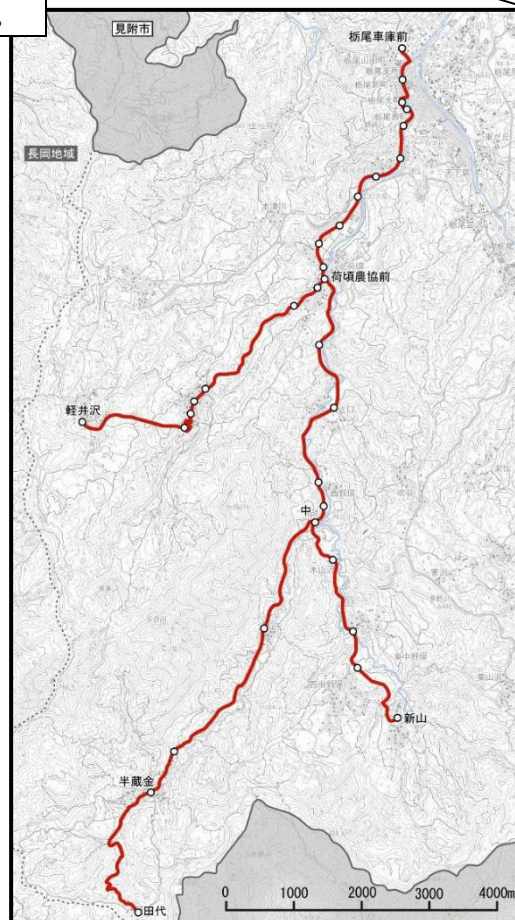
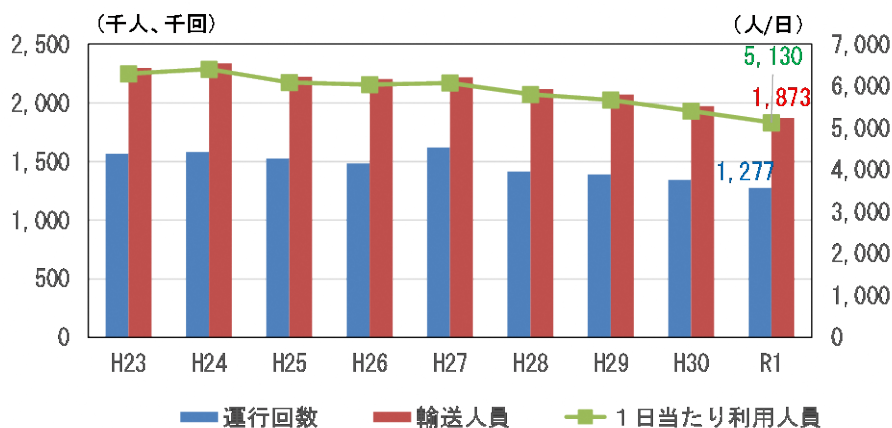


図 運行ルート

(3) タクシー

1) 利用状況

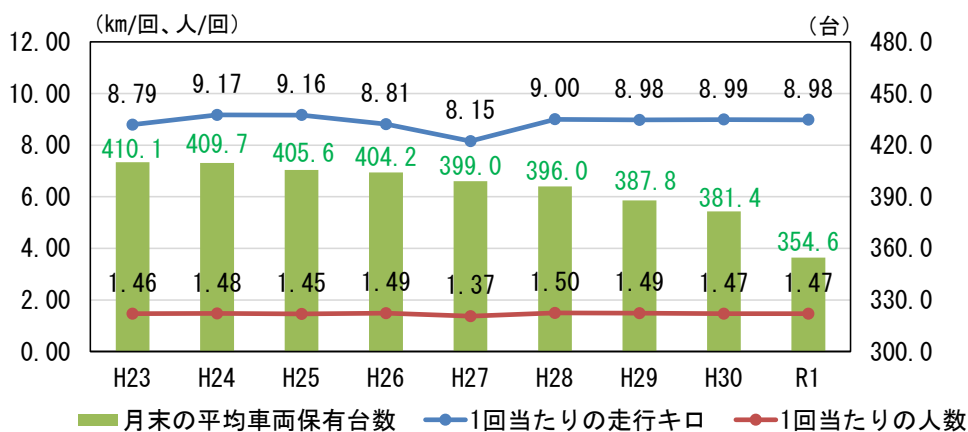
長岡市内に営業区域（一部のみ含）を持つ会社は 27 社あります。運行回数、輸送人員とも減少しており、令和元年は 1.8 百万人の利用であり、1 日当たりでは 5,130 人が利用しています。



資料：一般社団法人新潟県ハイヤー・タクシー協会

図 タクシーの利用実績

また、運行回数、輸送人員とも減少していますが、1 回当たりの利用状況は大きく変化していません。一方、タクシー事業者の月末における平均車両保有台数も減少していることから、利用者数減少との相関関係が予想されます。



資料：一般社団法人新潟県ハイヤー・タクシー協会資料より試算

図 1 回当たりのタクシーの利用実績

2) 運行エリア

市内でも長岡交通圏（長岡地域、越路地域、山古志地域）での運行事業者が 17 社と多いですが、長岡市 E（小国地域）では 2 社のみであり、長岡市 F（栃尾地域）では 6 社と少ない状況です。また、本社があるタクシー事業者は、中之島地域では 2 社、小国地域では 0 社であり、タクシー事業者の維持確保も必要となっています。

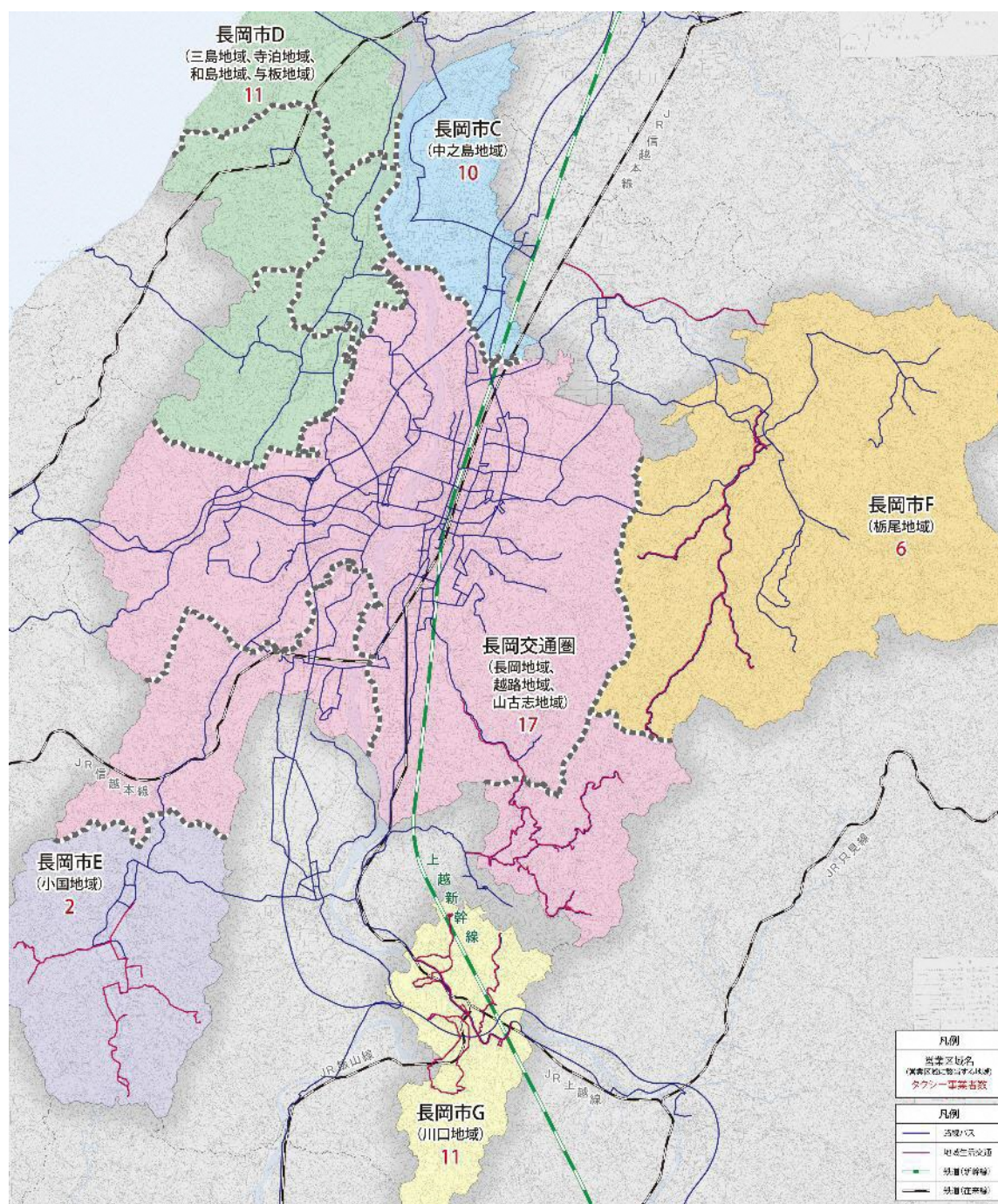


図 営業区域別タクシー事業者数

表 営業区域別タクシー事業者

番号	タクシー事業者	営業区域					
		長岡交通圏 〔長岡、越路 山古志〕	長岡市C (三条市B含) 〔中之島〕	長岡市D (三島郡含) 〔三島、寺泊 和島、与板〕	長岡市E 〔小国〕	長岡市F 〔栃尾〕	長岡市G (魚沼市含) 〔川口〕
1	三越タクシー 株式会社	○	○	○		○	○
2	中越交通 株式会社	○	○	○			
3	長岡タクシー 株式会社	○		○		○	○
4	つばめタクシー 株式会社	○		○		○	○
5	株式会社 カンコー	○	○				
6	旭タクシー 株式会社	○		○			
7	相互タクシー 株式会社	○					
8	有限会社 大手交通	○					
9	大河津観光 有限会社	○ (一部)		○			
10	有限会社 出雲崎交通	○ (一部)		○			
11	寺泊交通 株式会社	○ (一部)		○			
12	第2新興タクシー株式会社		○				
13	株式会社中央タクシー			○ (一部)			
14	地蔵堂タクシー有限会社	○ (一部)	○	○ (一部)			
15	加茂タクシー有限会社		○				
16	三条タクシー株式会社		○				
17	日の丸観光タクシー株式会社	○	○				○
18	株式会社エス. タクシー		○				
19	柏崎交通株式会社	○ (一部)		○	○		
20	大和タクシー株式会社				○		
21	株式会社 みつけタクシー	○ (一部)	○			○	○ (一部)
22	栃尾タクシー 有限会社	○ (一部)				○	○ (一部)
23	秋葉タクシー株式会社	○ (一部)				○	○ (一部)
24	小千谷タクシー株式会社						○
25	ひかり交通株式会社						○
26	株式会社小出タクシー						○
27	奥只見タクシー株式会社						○

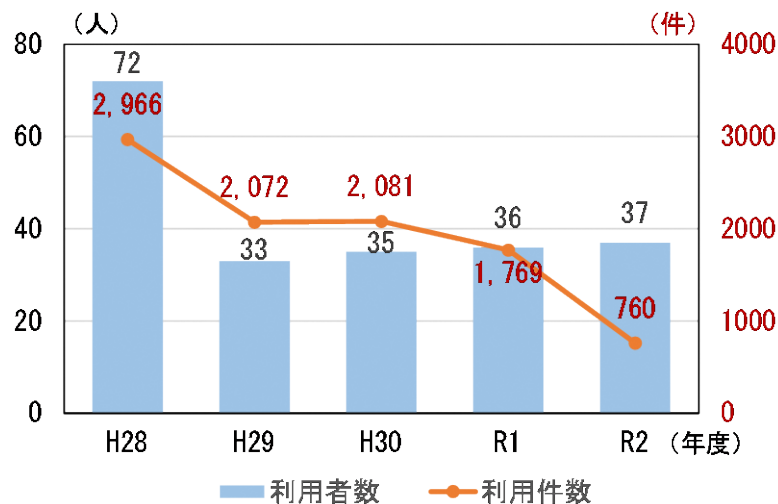
※ ■長岡市に本社がある事業者

資料：北陸信越運輸局

3. その他の交通

(1) 福祉有償運送

福祉有償運送を行っている法人は平成 28 年度では 3 法人でしたが、平成 29 年度以降 2 法人になりました。平成 29 年度以降は、利用者数は大きく変わらないものの、令和元年度から新型コロナウイルスの影響もあり、利用件数が減少しました。



資料：長岡市

図 福祉有償運送の利用状況

(2) スクールバス

9 の地域 23 の学校でスクールバスが運行されています。加えて、山古志地域生活交通の「クローバーバス」もスクールバスを兼ねているため、「三島」地域を除く、10 の地域でスクールバスが運行されています。

スクールバスは毎日運行されていることから、公共交通の代替手段として、移動手段の少ない地域や路線バスの運行頻度が少ない地域での混乗の可能性、空き時間の活用の可能性を検討することも可能です。

表 スクールバスが運行されている学校

地域	学校名	地域	学校名	地域	学校名
長岡地域	岡南小学校	和島地域	和島小学校	栃尾地域	上塩小学校
中之島地域	中之島中央小学校	寺泊地域	寺泊小学校		秋葉中学校
	上通小学校		大河津小学校		刈谷田中学校
	信条小学校		寺泊中学校	与板地域	与板小学校
	中之島中学校	栃尾地域	南小学校	川口地域	川口小学校
越路地域	越路小学校		東谷小学校		川口中学校
	越路西小学校		東小学校	特別支援学校	総合支援学校
小国地域	小国小学校		下塩小学校		

4. 公共交通の利用環境

(1) パークアンドライド

長岡市では、公共交通の利用促進に向けて、パークアンドライド駐車場の整備を進めており、前川駅東口側の整備が完了しました。現在、寺泊駅ではパークアンドライド駐車場を含めた駅前広場整備を進めています。

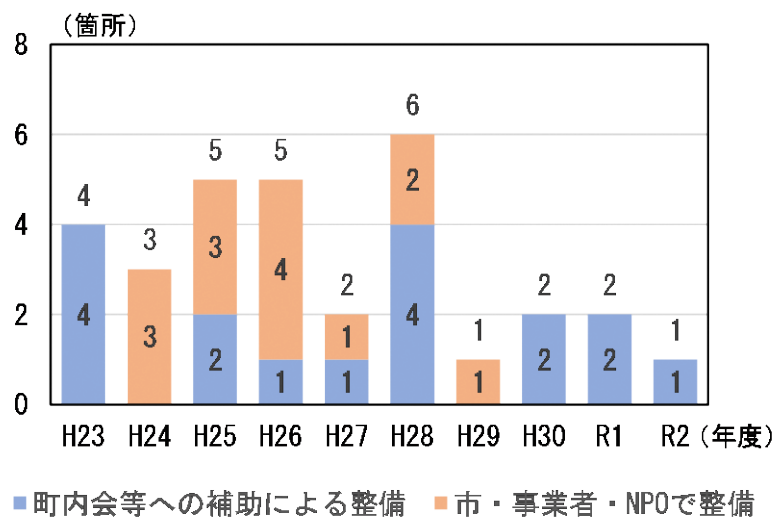


資料：長岡市

図 寺泊駅の整備イメージ

(2) バス停上屋整備

バス停の上屋整備は、平成 29 年度までは、主要な施設前や利用者が多い停留所を中心に長岡市や交通事業者等でも整備を進めてきましたが、平成 30 年度以降、主に町内会等への補助による整備となっています。



資料：長岡市

図 バス停上屋の整備状況

現況整理とアンケートの設定

※ 現況整理の結果等を踏まえ、アンケートの設定を行います。

■人口

- 長岡市の総人口は減少、世帯数は増加で、令和 3 年では 1 世帯当たりの人数は 2.43 人/世帯です。平成 18 年と比較すると約 0.5 人/世帯の減少です。将来人口は更に減少し、令和 7 年では 25.9 万人と 4 年間で 0.6 万人の減少となることが予想されています。
- 人口減少が進み、65 歳以上は増加し、令和 3 年は 8.3 万人（高齢化率：31%）です。
- 長岡地域に人口が集中していますが、各支所地域内でも人口が多い地域と少ない地域があり、市全体的に人口が広く分散しています。
- 全体的に人口は減少していますが、地区別では、「豊田」「表町」「宮内西」「富曽亀」「上川西」「日越」「中之島」で人口が増加するなど、地域によって変化動に差があります。
- 高齢化率は支所地域で高まっており、急速に高齢化が進んでいます。尚、令和 3 年現在で 30%未満の地域は、市中心部の長岡地域のみです。

→ 「住民アンケート」を地域別に配布数を設定します。

■市外の流動

- 就業者・通学者とも隣接の小千谷市、見附市との流動が多い傾向を示していますが、通学の流出では、新潟市(1,052 人)が最も多いです。

→ 「各アンケート」で各地域からの移動ニーズを整理します。

■主要施設の分布

- 各施設は、長岡地域に集中しており、支所地域からは長岡地域へのアクセスが必要です。
- 基幹 3 病院はいずれも長岡地域に立地しており、支所地域からの移動需要が見込めます。

→ 「各アンケート」で長岡地域へのニーズを整理します。

■観光客

- 観光入込客数は減少していますが、主な観光施設やイベントの実施地点は、市内に広く分布しています。

→ 「利用者アンケート」で公共交通を利用する観光客を整理します。

■交通事故

- 交通事故の件数は減少していますが、高齢者の事故の割合が増加しています。長岡市では、高齢者の免許返納のきっかけづくりとして「高齢者等運転免許自主返納支援事業」を実施しており、申請者数は R 1 まで増加傾向でした。

→ 「住民アンケート」の主な対象者を高齢者とします。

■交通量

- 平成 22 年から平成 27 年にかけて、南北方向の交通量（東バイパスの交通量）は減少していますが、東西方向の交通量（信濃川橋梁の交通量）は増加している箇所もあります。

■気象

○年間 200 日の降雨日があり、雨天時の公共交通利用者の増加に留意する必要があります。

■鉄道

○市内に鉄道駅が 14 駅あり、長岡駅の乗車人員が 7.9 千人/日(R2)で、その他の駅は 1,000 人/日以下です。運行本数は平成 29 年から大きく変わっていませんが、長岡駅は、上越新幹線や特急等の優等列車も停車するため、利用者が多いです。

■路線バス等乗合交通

- 長岡市では、路線バスの他、6 つの支所地域で地域生活交通が運行されています。
- 公共交通空白地は、中之島地域や寺泊地域、長岡地域の一部にまともって見られます。
- 補助金は平成 30 年度以降、増加傾向で、令和 2 年度で約 1.6 億円/年を負担しています。
- 路線バスの利用者数は年々減少しており、令和元年度では一般乗合バスは 489 万人です。
- 路線バスの運行便数も平成 29 年と比較すると平日で 210 便、休日で 130 便の減少となっています。
- 路線別の利用実績では、長岡駅と江陽団地、柏崎方面（田代）、越後丘陵公園などの方面の路線は収支率（想定）が高いです。また、学校関連の路線は利用者・運行目的が明確であることから、収支率が高くなっています。一方で、支所地域と市外を結んでいる路線などは収支率が低く、見直しを検討する必要性が高い路線があります。
- 県内高速バスの利用者も減少傾向です。通勤や通学利用で生活交通の一部となっていることが想定されます。
- 地域生活交通は、利用者が全体的に減少しています。
- タクシーは運転手の減少により、利用者数が減少していると考えられます。

→

「住民アンケート」で移動需要を整理します。

「利用者アンケート」で利用状況を整理します。

「高校生アンケート」で移動需要を整理します。

■その他の交通

- 福祉有償運送は、利用者数は変わりませんが、利用件数が減少しています。
- スクールバスは、10 の地域、23 の学校で運行されています。

■公共交通の利用環境

- 公共交通の利用環境整備として、パークアンドライドやバス停上屋の整備が行われています。

■考察

○全体的に、人口減少に伴い公共交通利用者も減少する傾向が進んでいる。その結果、事業者の収益も落ち込み、更に利便性が低下する悪循環に至り、財政負担に対する費用対効果が低下している。

■課題

○公共交通利用者の減少

○需要に見合う効率的な運行形態

長岡市は車社会であり、自家用車での移動割合が高い。自家用車から公共交通への転換は利便性の面から難易度が高いと考える。

ついては、以下のような潜在的な利用者が、公共交通を利用しない原因を探り、対策を講じることで公共交通の利用促進につながると仮定し、アンケート調査を行う。

- ・自動車運転免許証を持たない高齢者
- ・家族や知人の送迎により移動している高齢者、高校生
- ・時間帯等利便性の問題で、公共交通を利用しない高校生
- ・高校生の休日利用

※運転免許証を持たない高齢者、移動範囲が広い高校生に照準を合わせ、実態や要望を吸い上げる。

課題2つ目の「需要に見合う効率的な運行形態」は、アンケート調査の結果と合わせ、交通事業者へのヒアリングを通して検討していく。

1. 調査目的

長岡市における「公共交通の利用状況」、「問題点・改善要望」の他、「流動状況」や「利用する可能性」を把握し、地域公共交通計画策定の基礎資料を得るため。

2. 調査対象者

現況整理の結果より、顕在化した利用者へのアンケートに加え、潜在的な需要を見込める方を対象とする（高齢者、高校生）。

- | | | |
|-------------------|---|------------|
| ○公共交通を利用している人 | ⇒ | 「利用者アンケート」 |
| ○公共交通を利用する可能性がある人 | ⇒ | 「住民アンケート」 |
| ○公共交通を利用してもらいたい人 | ⇒ | 「高校生アンケート」 |

3. 調査意図

公共交通の利用促進には、潜在利用者の利用がポイントとなるため、対象を絞ったうえで実態調査を行う。

- | | | |
|-------------------|---|---------------|
| ○公共交通を利用している人 | ⇒ | 公共交通の利便性と満足度等 |
| ○公共交通を利用する可能性がある人 | ⇒ | 公共交通を利用しない理由等 |
| ○公共交通を利用してもらいたい人 | ⇒ | 公共交通を利用しない理由等 |

4. 長岡技術科学大学のアンケート調査

長岡技術科学大学都市交通研究室の学生が作成するもの。学生研究のために協力し、「住民アンケート」に同封し、合わせて回答をお願いする。

- 研究題目：「公共交通サービスレベルと他者による送迎ストレスが及ぼす外出回数への影響分析」
- 研究内容：長岡市民の高齢者に配布するアンケートを用いて個人属性と公共交通サービス水準が外出回数にどのくらい影響を及ぼすか、また、公共交通サービス水準が住民の将来の移動不安にどのような影響を及ぼしているのか分析する。
- 研究目的：今後予想される高齢社会のなかで自動車保有率が低く、交通弱者の割合が高い高齢者が生活をしやすい地域のあり方を交通分野の観点から提案する。

表 調査の概要

調査種別	住民アンケート	利用者アンケート	高校生
実施目的	○「公共交通の利用状況」、「問題点・改善要望」の他、「流動状況」を把握すること。	○住民アンケートと同様。 ※利用者に限定することで、実際に公共交通を利用している人の意見を把握。	○「公共交通の利用状況」や「利用する可能性」を把握すること。
配布対象	○住民（高齢者,高校生）	○公共交通利用者	○高校・高専生
配布・回収方法	○郵送配布、郵送回収	○直接配布、郵送回収	
配布数	○約 4,000 部	○約 800 部 ・長岡駅（400 部） ・地域生活交通（400 部）	○約 2,500 部
目標回収率	○48.5% ※網形成計画策定時の調査を参考に設定。		○100% ※学校に依頼
広報等	○支所だより、SNS 等		
調査項目 （設問内容）	(1)外出状況 ・外出目的、目的地、外出頻度、移動手段、時間帯など ※住民は普段の外出状況、利用者は当日の外出状況を質問 (2)公共交通(バス)の利用状況 ・利用頻度、利用する理由、満足度、利用した区間、利用しない理由、改善要望など (3)公共交通(県内高速バス)の利用状況 ・利用頻度、利用停留所、アクセス手段など (4)地域生活交通について ・利用頻度、利用目的、利用した・しない理由など (5)路線バスの維持について ・考え方 (6)個人属性 ・住所（支所地域レベル）、年齢、自動車運転免許の有無、自動車・自転車・バイクの有無、送迎など		(1)属性 ・住所、駅・停留所までの距離、休日の通学の有無など (2)登下校 ・家を出る時刻、着く時刻、交通手段など (3)路線バス ・利用頻度、利用する・しない理由、満足度 (4)鉄道 ・満足度、駅からの交通手段 (5)送迎 ・送迎理由、送迎先、直行便について (6)市外への外出 ・頻度、行き先、目的交通手段 (7)公共交通の考え方 ・利用、維持、高校生生活と公共交通など (8)自由意見

※住民アンケートにおける問 1-1～1-3 の「外出の方面」の選択肢

- ・長岡市は、合併地域を多く含んでいるため、地域ごとに外出の方面が異なることが予想される。
- ・そこで、外出の方面を地域ごとに变えて調査票を作成する（下表参照）。

地域	外出の方面
長岡地域	①長岡駅周辺 ②千秋・古正寺地区 ③その他長岡地域内 ④栃尾地域 ⑤見附市 ⑥小千谷市 ⑦その他
中之島地域	①中之島地域内 ②与板地域 ③寺泊地域 ④長岡駅周辺 ⑤千秋・古正寺地区 ⑥その他長岡地域 ⑦見附市 ⑧三条市 ⑨その他
越路地域	①越路地域内 ②小国地域 ③長岡駅周辺 ④千秋・古正寺地区 ⑤その他長岡地域 ⑥柏崎市 ⑦小千谷市 ⑧その他
三島地域	①三島地域内 ②和島地域 ③与板地域 ④長岡駅周辺 ⑤千秋・古正寺地区 ⑥その他長岡地域 ⑦見附市 ⑧柏崎市 ⑨その他
山古志地域	①山古志地域内 ②栃尾地域 ③川口地域 ④長岡駅周辺 ⑤千秋・古正寺地区 ⑥その他長岡地域 ⑦小千谷市 ⑧魚沼市 ⑨その他
小国地域	①小国地域内 ②越路地域 ③長岡駅周辺 ④千秋・古正寺地区 ⑤その他長岡地域 ⑥小千谷市 ⑦柏崎市 ⑧十日町市 ⑨その他
和島地域	①和島地域内 ②与板地域 ③寺泊地域 ④長岡駅周辺 ⑤千秋・古正寺地区 ⑥その他長岡地域 ⑦燕市 ⑧柏崎市 ⑨その他
寺泊地域	①寺泊地域内 ②和島地域 ③与板地域 ④長岡駅周辺 ⑤千秋・古正寺地区 ⑥その他長岡地域 ⑦燕市 ⑧柏崎市 ⑨その他
栃尾地域	①栃尾地域内 ②山古志地域 ③長岡駅周辺 ④千秋・古正寺地区 ⑤その他長岡地域 ⑥見附市 ⑦三条市 ⑧その他
与板地域	①与板地域内 ②中之島地域 ③三島地域 ④長岡駅周辺 ⑤千秋・古正寺地区 ⑥その他長岡地域 ⑦見附市 ⑧柏崎市 ⑨その他
川口地域	①川口地域内 ②山古志地域 ③長岡駅周辺 ④千秋・古正寺地区 ⑤その他長岡地域 ⑥小千谷市 ⑦魚沼市 ⑧その他

公共交通を運行している事業者が抱えている課題を聞き取り、今後の継続性や運行改善要望等を確認する。

1. 対象（以下のうち2～3事業者）

- ・路線バス事業者・・・・・・・・・・越後交通
- ・デマンド型乗合タクシー事業者・・・・秋葉タクシー（栃尾地域）
寺泊交通（和島地域、寺泊地域）
- ・コミュニティバス事業者（NPO）・・中越防災フロンティア（山古志地域）
MTNサポート（小国地域）
くらしサポート越後川口（川口地域）

2. 実施時期

令和3年12月

3. ヒアリング内容

- (1) 現在の運行の課題・今後の見通し
 - ・運転手の確保
 - ・運行経費の増加の可能性
 - ・営業所の営業時間の短縮、閉鎖など
- (2) 課題に対する取り組み
 - ・新技術の導入（キャッシュレス決済の導入）
 - ・女性運転士の増加について
 - ・再雇用について（〇〇歳まで等）
 - ・オペレータの外部委託
 - ・運行内容の変更提案など
- (3) 行政の支援
 - ・費用以外の支援
 - ・事業者間の調整要望
 - ・イベント時の臨時便の運行・案内支援など

住民アンケート



長岡市の公共交通に関する アンケートのお願い

日ごろ、市政に格別のご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

長岡市では、今年度（令和３年度）から来年度（令和４年度）にかけて公共交通のあり方をとりまとめ、「長岡市地域公共交通計画」を策定することとなりました。

この計画の策定にあたり、市民の皆様の公共交通の利用状況や意見を参考にさせていただくため、アンケート調査を実施いたします。

今回の調査では、65歳以上の高齢者の方、高校生の方の中から、約4,000名の方を抽出し配布させていただきました。回答いただいた内容は長岡市地域公共交通計画策定以外の目的には利用いたしません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、今回、

①長岡市地域公共交通計画を策定するためのアンケート の他に、

②長岡技術科学大学の学生さんの研究用のアンケート

も同封させていただきました。合わせてご協力いただければ幸いです。

令和３年●月

長岡市地域公共交通協議会

【①のアンケートの記入にあたって】

- ◆このアンケートは、送付されたご本人さまに回答をお願いいたします。
- ◆不要不急の移動自粛等が求められている時期ですが、新型コロナウイルスの影響がない場合を想定し、当てはまる番号に○を付けるか、具体的な内容を枠内に記入して、ご回答ください。
- ◆ご回答いただきました調査票は、お手数ですが、返信用封筒にて ●月●日（●）までにポストに投函してくださいますようお願いいたします。

①のアンケートに関する問い合わせ先

長岡市地域公共交通協議会（事務局）：長岡市 都市整備部 都市政策課交通政策室
担当：星野、田中 電話：０２５８－３９－２２６７

住民アンケート調査票

長岡地域

問 1. あなたの外出状況についてお聞きします。

問 1-1. 最近 1 ヶ月に、「通勤・通学」で外出しましたか。(1 つ)

- ①「通勤・通学」で外出した →通勤・通学について次の質問にお答えください。
 ②「通勤・通学」で外出しなかった →問 1-2 へお進みください。

方面 (1 つ)	①長岡駅周辺		②千秋・古正寺地区		配布地域により 選択肢を変更
	③その他長岡地域内		④栃尾地域		
	⑤見附市		⑥小千谷市		
	⑦その他 ()				
目的地	施設名等 () 例:〇〇町周辺、〇〇学校				
外出頻度 (1 つ)	①ほぼ毎日 ②週に 2、3 回程度 ③週に 1 回程度 ④月に 2、3 回程度 ⑤月に 1 回程度				
移動手段【通常】 (いくつでも)	①路線バス ②鉄道(JR) ③タクシー ④自家用車(自分で運転) ⑤家族等の送迎・家族と一緒に ⑥徒歩 ⑦自転車 ⑧その他 ()				
家を出る時間帯 (1 つ)	①7 時以前 ②7 時台 ③8 時台 ④9 時台 ⑤10 時台 ⑥11 時台 ⑦12 時台 ⑧午後(時台)				
家に着く時間帯 (1 つ)	①午前(時台) ②12 時台 ③13 時台 ④14 時台 ⑤15 時台 ⑥16 時台 ⑦17 時台 ⑧18 時台 ⑨19 時台 ⑩20 時台 ⑪21 時台以降				

問 1-2. 最近 1 ヶ月に、「買い物」で外出しましたか。(1 つ)

- ①「買い物」で外出した → 買い物について次の質問にお答えください。
②「買い物」で外出しなかった → 問 1-3 へお進みください。

方面 (1つ)	①長岡駅周辺 ②千秋・古正寺地区		配布地域により 選択肢を変更
	③その他長岡地域内 ④栃尾地域		
	⑤見附市 ⑥小千谷市		
	⑦その他 ()		
よく行く目的地	施設名等 () 例:〇〇町周辺、〇〇スーパー		
外出頻度 (1つ)	①ほぼ毎日 ②週に2、3回程度 ③週に1回程度 ④月に2、3回程度 ⑤月に1回程度		
移動手段【通常】 (いくつでも)	①路線バス ②鉄道(JR) ③タクシー ④自家用車(自分で運転) ⑤家族等の送迎・家族と一緒に ⑥徒歩 ⑦自転車 ⑧その他 ()		
家を出る時間帯 (1つ)	①7時以前 ②7時台 ③8時台 ④9時台 ⑤10時台 ⑥11時台 ⑦12時台 ⑧午後()時台)		
家に着く時間帯 (1つ)	①午前()時台) ②12時台 ③13時台 ④14時台 ⑤15時台 ⑥16時台 ⑦17時台 ⑧18時台 ⑨19時台 ⑩20時台 ⑪21時台以降		

問 1-3. 最近 1 ヶ月に、「通院」で外出しましたか。(1 つ)

- ①「通院」で外出した →通院について次の質問にお答えください。
②「通院」で外出しなかった →問2へお進みください。

方面 (1つ)	①長岡駅周辺		②千秋・古正寺地区		配布地域により 選択肢を変更
	③その他長岡地域内		④栃尾地域		
	⑤見附市		⑥小千谷市		
	⑦その他（ ）				
よく行く目的地	施設名等 （ ） 例：〇〇町周辺、〇〇病院				
外出頻度 (1つ)	①ほぼ毎日		②週に2、3回程度	③週に1回程度	
	④月に2、3回程度		⑤月に1回程度		
移動手段【通常】 (いくつでも)	①路線バス		②鉄道(JR)		
	③タクシー		④自家用車(自分で運転)		
	⑤家族等の送迎・家族と一緒に		⑥徒歩		
	⑦自転車		⑧その他（ ）		
家を出る時間帯 (1つ)	①7時以前		②7時台	③8時台	
	④9時台		⑤10時台	⑥11時台	
	⑦12時台		⑧午後（ 時台）		
家に着く時間帯 (1つ)	①午前（ 時台）	②12時台	③13時台	④14時台	
	⑤15時台	⑥16時台	⑦17時台	⑧18時台	
	⑨19時台	⑩20時台	⑪21時台以降		

問 2. 公共交通（バス）についてお聞きします。

問 2-1. バスの利用頻度を教えてください。（1 つ）

- ①ほぼ毎日 ②週に 1 回程度 ③月に 1 回程度 ④数ヶ月に 1 回程度
⑤数ヶ月に 1 回より少ない・利用しない → 問 2-5 へお進みください。（次のページ）

問 2-2. バスを利用する理由を教えてください。（いくつでも）

- ①徒歩や自転車よりも早く移動ができるため ②他の移動手段がないため
③車や自転車などよりも安全であるため ④家族等に送迎を頼むことができない
⑤天気が悪いとき、自転車・徒歩等ではつらいため ⑥自転車を持っていない・免許がない
⑦バス停留所が近い ⑧その他（ ）

問 2-3. 現在のバスの運行内容に満足していますか。（それぞれ 1 つ）

運行全体	不満	やや不満	普通	やや満足	満足
バスの運賃	不満	やや不満	普通	やや満足	満足
バスの運行ルート	不満	やや不満	普通	やや満足	満足
バスの運行時間帯	不満	やや不満	普通	やや満足	満足
バスの運行間隔	不満	やや不満	普通	やや満足	満足
鉄道や他のバスへの乗り継ぎ	不満	やや不満	普通	やや満足	満足
バスの設備（座席、ノンステップバスなど）	不満	やや不満	普通	やや満足	満足
バス停の設備（待合所、ベンチなど）	不満	やや不満	普通	やや満足	満足
ご自宅から最寄のバス停までの距離	不満	やや不満	普通	やや満足	満足
バス利用時のわかりやすさ（運行案内など）	不満	やや不満	普通	やや満足	満足
コロナ感染対策	不満	やや不満	普通	やや満足	満足
乗務員の対応	不満	やや不満	普通	やや満足	満足

問 2-4. 一番最近、利用したバスの利用区間を教えてください。

乗車した停留所	停留所	降車した停留所	停留所
---------	-----	---------	-----

問 2-5. 問 2-1 で「数ヶ月に 1 回より少ない・利用しない」と回答した方にお聞きします。バスを利用しない理由を教えてください。(いくつでも)

①車を持っているため	②家族や知り合いに送迎をしてもらえるため
③運行（ルート、時刻など）が自分に合わないため	④運賃が高いため
⑤バスを乗り降りするときに段差が大変なため	⑥バスを待つ環境が悪い（屋根が無いなど）
⑦どのバスに乗れば良いかわからないため	⑧自宅・目的地の近くにバス停がない
⑨ほとんど徒歩・自転車で行けるため	⑩目的地まで時間がかかる
⑪乗り継ぎに時間がかかる	⑫その他（ ）

問 2-6. あなた自身がバスを利用するために効果的だと思う取り組みを 5 つ選んでください。(5 つ)

運行 内容	①新しい運行ルート …どこ から どこ まで
	②運行回数を増やす …路線 朝、昼、夕、夜の回数
	③時間帯を広げる …路線 時から 時までの間運行する
	④停留所を増やす …どこ 例：○町内、○スーパー
	⑤のりつぎ時間を短縮する …停留所
	⑥自宅からバス停まで小型バスなどを運行する
	⑦冬でも時刻表どおりに運行する
運賃 制度	⑧割引サービスの導入（乗り継ぎ割引など）
車両	⑨乗り降りするときの段差が小さいバスを導入（低床バスの導入）
	⑩わかりやすい行き先の表示（各路線に番号をふる、表示の大型化など）
利用 環境	⑪バス停に屋根（上屋）を整備する …停留所
	⑫キャッシュレス決済（IC カード等）を導入する
情報 提供	⑬運行ルート・停留所の場所が分かる地図や分かりやすい時刻表を提供
	⑭バス停や携帯電話などで、バスが今どこを走っているかを分かるようにする
	⑮その他（ ）

問 2-7. あなたが普段から路線バスを利用しているとしてお答えください。利用している路線が利用者の減少により運行を見直すことになった場合、以下のうち、最も行ってもよい見直しと最も行ってもほしくない見直しを教えてください。

1 【運賃の増加】例えば、200 円が 300 円となる。

2 【運行回数の減少】例えば、毎日運行するが、1 日の運行回数が減少する。

3 【運行日の減少】例えば、1 日の運行回数は変わらないが、月水金のみ運行となる。

4 【予約制の運行】例えば、自宅の近くまで迎えに行くが、予約がないと運行しない。

5 【路線の乗り換え】例えば、長岡駅に行くまでに乗り換えが生じる。

最も <u>行ってもよい</u> 見直し内容 (1 つ)		記入例 3
最も <u>行ってもほしくない</u> 見直し内容 (1 つ)		記入例 1

問 3. 公共交通（県内高速バス）についてお聞きします。

問 3-1. 県内高速バス利用頻度を教えてください。(1 つ)

- ①ほぼ毎日 ②週に 1 回程度 ③月に 1 回程度 ④数ヶ月に 1 回程度
 ⑤数ヶ月に 1 回より少ない・利用しない → 問 3-4 へお進みください。(次のページ)

問 3-2. 主に利用する停留所を教えてください。

乗る停留所	停留所	降りる停留所	停留所
-------	-----	--------	-----

問 3-3. 主に利用する停留所までの交通手段を教えてください。(1 つ)

- ①路線バス ②鉄道 ③自家用車(自分で運転)
 ④家族等の送迎 ⑤徒歩 ⑥自転車
 ⑦その他 ()

問 3-4. 県内高速バスの利便性を高めるために効果的と思う取り組みを1つ選んでください。 (1つ)

- | | |
|-------------------|-------------|
| ①停留所周辺の駐車場の整備 | ②送迎スペースの確保 |
| ③路線バス・鉄道との接続時間の改善 | ④駅周辺の駐輪場の整備 |
| ⑤その他 () | |

問 4. NPOやタクシー会社が運行しているバスや乗合タクシーについてお聞きます。

問 4-1. NPOが運行するバスや乗合タクシーの利用頻度を教えてください。 (1つ)

- | | | |
|--------------------|---------|------------------|
| ①住んでいる地域に運行していない | —————→ | 問 5(次頁)へお進みください。 |
| ②週に1回程度 | ③月に1回程度 | ④数ヶ月に1回程度 |
| ⑤数ヶ月に1回より少ない・利用しない | —————→ | 問 4-5 へお進みください。 |

問 4-2. 最近、利用したときの目的を教えてください。 (1つ)

- | | | |
|-----|------|----------|
| ①通院 | ②買い物 | ③その他 () |
|-----|------|----------|

問 4-3. 最近、利用したときの最終的な目的地を教えてください。 (1つ)

- | | | |
|-----------|----------------|---------|
| ①支所地域内の施設 | ②長岡市中心部(乗り継いで) | ③その他() |
|-----------|----------------|---------|

問 4-4. 利用した理由を教えてください。 (いくつでも)

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| ①徒歩や自転車よりも早く移動ができるため | ②他の交通手段がないため |
| ③自家用車や自転車よりも安全であるため | ④家族等に送迎を頼めないため |
| ⑤天気が悪いとき、自転車・徒歩等ではつらいため | ⑥自転車を持っていない・免許がない |
| ⑦バス停が近い | ⑧その他 () |

問 4-5. 利用しない理由を教えてください。 (いくつでも)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| ①車を持っているため | ②家族や知り合いに送迎をしてもらえるため |
| ③運行(ルート、時刻など)が自分に合わないため | ④運賃が高いため |
| ⑤バスを乗り降りするときに段差が大変なため | ⑥停留所に屋根がないなど待つ環境が悪い |
| ⑦予約が面倒、乗り方がわからないため | ⑧自宅・目的地の近くにバス停がない |
| ⑨ほとんど徒歩・自転車でいけるため | ⑩目的地まで時間がかかる |
| ⑪乗り継ぎに時間がかかる | ⑫その他 () |

問5. 路線バスの維持について、お聞きします。

現在、路線バスの赤字路線に対して、長岡市は年間約１億円の運行補助を行っています。そこで、あなたの将来の路線バス減便・廃止に対する考え方に当てはまる内容をお選びください。(１つ)

選択 (○をつけてください)

A diagram showing a queue of four nodes. Each node is a light blue square with a black border. An arrow points to the first node from the left, indicating it is the current node being processed. The nodes are arranged horizontally, and a vertical line connects each node to a common horizontal line below them.

路線バスの運行便数	維持	削減(小)	削減(中)	削減(大)
長岡市の運行補助額	大幅増加	やや増加	やや削減	大幅削減

問 6. あなたご自身について、お聞きします。

年齢 (1つ)	①20歳未満 ②60歳代 ③70歳代 ④80歳以上
自動車運転免許 (1つ)	①あり ②なし ③その他(返納済み等)
住所	郵便番号 〒 -
乗り物の所有 (いくつでも)	①自家用車 ②バイク ③自転車 ④シニアカー ⑤なし
送迎 (1つ)	①家族など、送迎をお願いできる人がいる ②送迎をお願いできる人はいない
スマートフォンの 保有 (1つ)	①持っている ②持っていない

問7. その他、公共交通に関してご意見があればご記入ください。

[illegible]

— ご協力ありがとうございました —

利用者アンケート



長岡市の公共交通に関する アンケートのお願い

日ごろ、市政に格別のご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

長岡市では、今年度（令和３年度）から来年度（令和４年度）にかけて公共交通のあり方をとりまとめ、「長岡市地域公共交通計画」を策定することとなりました。

この計画の策定にあたり、市民の皆様の公共交通の利用状況や意見を参考にさせていただくため、アンケート調査を実施いたします。

なお、回答いただいた内容は長岡市地域公共交通計画策定以外の目的には利用いたしません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和３年●月

長岡市地域公共交通協議会

【アンケートの記入にあたって】

- ◆このアンケートは、**受け取られたご本人さまに回答**をお願いいたします。
- ◆当てはまる番号に○を付けるか、具体的な内容を枠内に記入して、ご回答ください。
- ◆ご回答いただきました調査票は、お手数ですが、返信用封筒にて **●月●日（●）** までにポストに投函してくださいようお願いいたします。

問い合わせ先

長岡市地域公共交通協議会（事務局）：長岡市 都市整備部 都市政策課交通政策室
担当：星野、田中 電話：０２５８－３９－２２６７

利用者アンケート調査票

問 1. アンケートを受け取られた日の外出についてお聞きします。

問 1-1. 本日の外出で訪れた目的地および移動手段を教えてください。

※複数の目的地を訪れた方は、「目的地 2・3」もお答えください

【記入例】

例 1：本日に病院のみに外出した場合

→ 目的地 1＝病院 ※目的地 2・目的地 3 は回答の必要なし

例 2：本日に病院・スーパー・市役所の順に外出した場合

→ 目的地 1＝病院 目的地 2＝スーパー 目的地 3＝市役所

自宅（出発）

移動

必ず回答

移動手段
(いくつでも)

- ①路線バス ②鉄道(JR) ③タクシー
④NPOバス ⑤乗合タクシー
⑥自家用車(自分で運転) ⑦家族等の送迎
⑧徒歩 ⑨自転車 ⑩その他 ()

目的地 1

必ず回答

目的地
(1つ)

- ①長岡駅周辺 (施設名:)
②千秋・古正寺地区 (施設名:)
③長岡赤十字病院 ④長岡中央総合病院 ⑤立川総合病院
⑥その他長岡市内 (施設名:)
⑦長岡市外 (施設名:)

目的
(1つ)

- ①通勤 ②通学 ③買い物 ④通院
⑤観光 ⑥その他 ()

移動

あれば回答

移動手段
(いくつでも)

- ①路線バス ②鉄道(JR) ③タクシー
④自家用車(自分で運転) ⑤家族等の送迎
⑥徒歩 ⑦自転車 ⑧その他 ()

◎次ページへ続く

◎続き



目的地2

あれば回答	①長岡駅周辺（施設名：） ②千秋・古正寺地区（施設名：） ③長岡赤十字病院 ④長岡中央総合病院 ⑤立川総合病院 ⑥その他長岡市内（施設名：） ⑦長岡市外（施設名：）
目的地 (1つ)	
目的 (1つ)	①通勤 ②通学 ③買い物 ④通院 ⑤観光 ⑥その他（）

移動

あれば回答	①路線バス ②鉄道(JR) ③タクシー ④自家用車(自分で運転) ⑤家族等の送迎 ⑥徒歩 ⑦自転車 ⑧その他（）
移動手段 (いくつでも)	



目的地3

あれば回答	①長岡駅周辺（施設名：） ②千秋・古正寺地区（施設名：） ③長岡赤十字病院 ④長岡中央総合病院 ⑤立川総合病院 ⑥その他長岡市内（施設名：） ⑦長岡市外（施設名：）
目的地 (1つ)	
目的 (1つ)	①通勤 ②通学 ③買い物 ④通院 ⑤観光 ⑥その他（）

※忘れずにご回答ください。

移動

必ず回答	①路線バス ②鉄道(JR) ③タクシー ④NPOバス ⑤乗合タクシー ⑥自家用車(自分で運転) ⑦家族等の送迎 ⑧徒歩 ⑨自転車 ⑩その他（）
移動手段 (いくつでも)	

自宅（帰宅）



問 2-1. バスの利用頻度を教えてください。(1つ)

問 2-2. バスを利用する理由を教えてください。(いくつでも)

問 2-3. 現在のバスの運行内容に満足していますか。（それぞれ1つ）

3

問 2-4. 問 2-1 で「数ヶ月に1回より少ない・利用しない」と回答した方にお聞きします。バスを利用しない理由を教えてください。(いくつでも)

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| ①車を持っているため | ②家族や知り合いに送迎をしてもらえるため |
| ③運行（ルート、時刻など）が自分に合わないため | ④運賃が高いため |
| ⑤バスを乗り降りするときに段差が大変なため | ⑥バスを待つ環境が悪い（屋根が無いなど） |
| ⑦どのバスに乗れば良いかわからないため | ⑧自宅・目的地の近くにバス停がない |
| ⑨ほとんど徒歩・自転車で行けるため | ⑩目的地まで時間がかかる |
| ⑪乗り継ぎに時間がかかる | ⑫その他（ ） |

問 2-5. あなた自身がバスを利用するために効果的だと思う取り組みを5つ選んでください。(5つ)

運行
内容

- ①新しい運行ルート … どこ から どこ まで
- ②運行回数を増やす … 路線 朝、昼、夕、夜の回数
- ③時間帯を広げる … 路線 時から 時 までの間運行する
- ④停留所を増やす … どこ 例：○町内、○スーパー
- ⑤のりつぎ時間を短縮する … 停留所
- ⑥自宅からバス停まで小型バスなどを運行する
- ⑦冬でも時刻表どおりに運行する

運賃
制度

- ⑧割引サービスの導入（乗り継ぎ割引など）

車両

- ⑨乗り降りするときの段差が小さいバスを導入（低床バスの導入）
- ⑩わかりやすい行き先の表示（各路線に番号をふる、表示の大型化など）

利用
環境

- ⑪バス停に屋根（上屋）を整備する … 停留所
- ⑫キャッシュレス決済（IC カード等）を導入する

情報
提供

- ⑬運行ルート・停留所の場所が分かる地図や分かりやすい時刻表を提供
- ⑭バス停や携帯電話などで、バスが今どこを走っているかを分かるようにする
- ⑮その他（ ）

問 2-6. あなたが普段から路線バスを利用しているとしてお答えください。利用している路線が利用者の減少により運行を見直すことになった場合、以下のうち、最も行ってもよい見直しと最も行ってもほしくない見直しを教えてください。

1 【運賃の増加】例えば、200 円が 300 円となる。

2 【運行回数の減少】例えば、毎日運行するが、1 日の運行回数が減少する。

3 【運行日の減少】例えば、1 日の運行回数は変わらないが、月水金のための運行となる。

4 【予約制の運行】例えば、自宅の近くまで迎えに行くが、予約がないと運行しない。

5 【路線の乗り換え】例えば、長岡駅に行くまでに乗り換えが生じる。

最も <u>行ってもよい</u> 見直し内容 (1 つ)		記入例 3
最も <u>行ってもほしくない</u> 見直し内容 (1 つ)		記入例 1

問 3. 公共交通（県内高速バス）についてお聞きます。

問 3-1. 県内高速バス利用頻度を教えてください。(1 つ)

- ①ほぼ毎日 ②週に 1 回程度 ③月に 1 回程度 ④数ヶ月に 1 回程度
 ⑤数ヶ月に 1 回より少ない・利用しない → 問 3-4 へお進みください。(次のページ)

問 3-2. 主に利用する停留所を教えてください。

乗る停留所	停留所	降りる停留所	停留所
-------	-----	--------	-----

問 3-3. 主に利用する停留所までの交通手段を教えてください。(1 つ)

- ①路線バス ②鉄道 ③自家用車(自分で運転)
 ④家族等の送迎 ⑤徒歩 ⑥自転車
 ⑦その他 ()

問 3-4. 県内高速バスの利便性を高めるために効果的と思う取り組みを1つ選んでください。(1つ)

- | | |
|-------------------|-------------|
| ①停留所周辺の駐車場の整備 | ②送迎スペースの確保 |
| ③路線バス・鉄道との接続時間の改善 | ④駅周辺の駐輪場の整備 |
| ⑤その他 () | |

問 4. NPOやタクシー会社が運行しているバスや乗合タクシーについてお聞きします。

問 4-1. NPOが運行するバスや乗合タクシーの利用頻度を教えてください。(1つ)

- | | | |
|--------------------|---------|------------------|
| ①住んでいる地域に運行していない | ————→ | 問 5(次頁)へお進みください。 |
| ②週に1回程度 | ③月に1回程度 | ④数ヶ月に1回程度 |
| ⑤数ヶ月に1回より少ない・利用しない | ————→ | 問 4-5 へお進みください。 |

問 4-2. 最近、利用したときの目的を教えてください。(1つ)

- | | | |
|-----|------|----------|
| ①通院 | ②買い物 | ③その他 () |
|-----|------|----------|

問 4-3. 最近、利用したときの最終的な目的地を教えてください。(1つ)

- | | | |
|-----------|----------------|----------|
| ①支所地域内の施設 | ②長岡市中心部(乗り継いで) | ③その他 () |
|-----------|----------------|----------|

問 4-4. 利用した理由を教えてください。(いくつでも)

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| ①徒歩や自転車よりも早く移動ができるため | ②他の交通手段がないため |
| ③自家用車や自転車よりも安全であるため | ④家族等に送迎を頼めないため |
| ⑤天気が悪いとき、自転車・徒歩等ではつらいため | ⑥自転車を持っていない・免許がない |
| ⑦バス停が近い | ⑧その他 () |

問 4-5. 利用しない理由を教えてください。(いくつでも)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| ①車を持っているため | ②家族や知り合いに送迎をしてもらえるため |
| ③運行(ルート、時刻など)が自分に合わないため | ④運賃が高いため |
| ⑤バスを乗り降りするときに段差が大変なため | ⑥停留所に屋根がないなど待つ環境が悪い |
| ⑦予約が面倒、乗り方がわからないため | ⑧自宅・目的地の近くにバス停がない |
| ⑨ほとんど徒歩・自転車でいけるため | ⑩目的地まで時間がかかる |
| ⑪乗り継ぎに時間がかかる | ⑫その他 () |

問5. 路線バスの維持について、お聞きします。

現在、路線バスの赤字路線に対して、長岡市は年間約 1 億円の運行補助を行っています。そこで、あなたの将来の路線バス減便・廃止に対する考え方に当てはまる内容をお選びください。(1 つ)

選択 (○をつけてください)

路線バスの運行便数	維持	削減(小)	削減(中)	削減(大)
長岡市の運行補助額	大幅増加	やや増加	やや削減	大幅削減

問 6. あなたご自身について、お聞きします。

年齢 (1つ)	①10歳代以下 ②20歳代 ③30歳代 ④40歳代 ⑤50歳代 ⑥60歳代 ⑦70歳代 ⑧80歳以上
自動車運転免許 (1つ)	①あり ②なし ③その他(返納済み等)
住所	郵便番号 〒 - または (〇〇市〇〇町)
乗り物の所有 (いくつでも)	①自家用車 ②バイク ③自転車 ④シニアカー ⑤なし
送迎 (1つ)	①家族など、送迎をお願いできる人がいる ②送迎をお願いできる人はいない
スマートフォンの 保有 (1つ)	①持っている ②持っていない

問7. その他、公共交通に関してご意見があればご記入ください。

--

— ご協力ありがとうございました —

高校生アンケート

新潟県立●●●●高等学校長 様
(または●●●●高等学校長 様)

長岡市長 磯田達伸
(担当：都市整備部
都市政策課 交通政策室)

公共交通の利用実態調査について（お願い）

初秋の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、日頃から長岡市の行政運営についてご理解・ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

長岡市では、今年度（令和3年度）から来年度（令和4年度）にかけて公共交通のあり方を取りまとめ、「長岡市地域公共交通計画」を策定することとなりました。

つきましては、当該計画の策定に当たり、高校生が普段どのような交通手段で通学し、公共交通に対してどのような要望を持っているのかを把握し、これからの取組の方向性を検討していきたいと考えておりますので、お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

記

1 調査内容 別紙のとおり

2 調査対象 2 学年全員

3 調査方法

- ・生徒に調査票を配付いただき、記入後の調査票を回収の上、クラスごとに封筒に入れて保管してください。
- ・○月○日（ ）までに回収・保管をお願いします。ご連絡後、調査票を受け取りに伺います。

【問合せ先】

長岡市 都市整備部 都市政策課
交通政策室（担当：星野、田中）

電話：0258-39-2267



長岡市の公共交通に関する アンケートのお願い

日ごろ、市政に格別のご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

長岡市では、今年度（令和３年度）から来年度（令和４年度）にかけて公共交通のあり方を取りまとめ、「長岡市地域公共交通計画」を策定することとなりました。

この計画の策定にあたり、市民の皆様の公共交通の利用状況や意見を参考にさせていただくため、アンケート調査を実施いたします。

なお、回答いただいた内容は長岡市地域公共交通計画策定以外の目的には利用いたしません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和３年〇月

長岡市地域公共交通協議会

【アンケートの記入にあたって】

- ◆このアンケートは、**受け取られたご本人さまに回答**をお願いいたします。
- ◆当てはまる番号に○を付けるか、具体的な内容を枠内に記入して、ご回答ください。

問い合わせ先

長岡市地域公共交通協議会（事務局）：長岡市 都市整備部 都市政策課交通政策室
担当：星野、田中 電話：０２５８－３９－２２６７

アンケート調査票

問1 あなたご自身について、お聞きします。

問1-1 あなたのお住まいの郵便番号を教えてください。

郵便番号	〒 -
------	--

問1-2 ご自宅の最寄りの駅とバス停を回答欄にご記入ください。また、概ねの距離を教えてください。

最寄りの駅・バス停	自宅からの距離（それぞれ1つに○）
駅	①500m未満 ②500～1,000m未満 ③1,000m以上
バス停	①100m未満 ②100～300m未満 ③300～500m未満 ④500m以上

問1-3 部活動や課外活動など、休日の通学状況について、教えてください。（新型コロナウイルスによる休校）の影響を除く。※下記から該当する番号に○（それぞれ1つ）

休日の通学 (部活動等)	①土曜のみ ②日曜のみ ③土日とも ④なし
-----------------	-----------------------

問1-4 1人または友人と一緒に、学校以外でよく行く市内の地区（月1～2回程度以上）を、教えてください。※下記の該当する番号に○（いくつでも）

①長岡駅・防災公園周辺	②千秋・古正寺地区	③宮内駅・宮内ショッピングセンター周辺
④リップスガーデン(川崎)周辺	⑤枋尾地域中心部	⑥来迎寺駅・越路支所周辺
⑦中之島支所・見附今町周辺	⑧市内その他()	⑨あまり外出しない

問1-5 所有している電子端末を、教えてください。 ※下記の該当する番号に○（いくつでも）

①スマートフォン	②タブレット	③両方持っていない
----------	--------	-----------

問2 あなたの登下校について、お聞きします。

問2-1 最も頻度が高い登下校の時間帯について、教えてください。

※それぞれ回答欄に下記の該当する番号を記入

行 き	家を出る時刻 ⇒		帰 り	学校を出る時刻 ⇒	
	学校に着く時刻 ⇒			家に着く時刻 ⇒	

- | | | | | | |
|--------|-------|-------|---------|-------|-------|
| ①5時台以前 | ②6時台 | ③7時台 | ④8時台 | ⑤9時台 | ⑥10時台 |
| ⑦11時台 | ⑧12時台 | ⑨13時台 | ⑩14時台 | ⑪15時台 | ⑫16時台 |
| ⑬17時台 | ⑭18時台 | ⑮19時台 | ⑯20時台以降 | | |

問 2-2 (1) 登校時 と (2) 下校時の長岡市内における交通手段について、それぞれ教えてください。複数の交通手段を利用する場合は全てご記入ください。

【記入欄】

※下記の該当する番号をいくつでも記入

	(1) 登校時	(2) 下校時
交通手段	(例) ①、⑤	(例) ③

【選択肢：交通手段】

①路線バス ②鉄道 ③家族などによる送迎 ④バイク ⑤徒歩・自転車
⑥その他（NPO バス、デマンドタクシーなど）

問 2-3 【問 2-2 で「路線バス等」、「鉄道」のいずれか一つでも選択した方にお聞きます。】

定期券は購入していますか。

※下記から該当する番号に○（それぞれ 1 つ）

鉄道	①1 か月定期券を購入 ②3 か月定期券を購入 ③6 か月定期券を購入 ④定期券は購入していない	バス	①1 か月定期券（往復・片道）を購入 ②3 か月定期券（往復・片道）を購入 ③6 か月定期券（往復・片道）を購入 ④定期券は購入していない
----	---	----	--

問 3 「路線バス」についてお聞きます。

問 3-1 どの程度、利用していますか。（通学以外も含みます） ※下記から該当する番号に○（1 つだけ）

①ほぼ毎日 ②週に 2～3 回 ③週に 1 回 ④月に 1～2 回 ⑤年に数回程度
⑥1 年以上利用していない [→⑥を選んだ方は問 3-3 へお進みください]

問 3-2 路線バスを利用する理由は何ですか。

※下記の該当する番号に○（いくつでも）

①バス停が近い ②ほぼ時刻表通りに来る ③ダイヤがわかりやすい
④乗りたい時刻に運行している ⑤目的地へ自分で行ける ⑥運賃が安い
⑦乗り降りがしやすい ⑧自転車を使えない・使いにくい ⑨徒歩・自転車より時間がかからない
⑩送迎を頼まなくてもすむ ⑪雨や暑い日などの悪天候でも出かけられる
⑫ドライバーが親切 ⑬その他（ ）

問 3-3 路線バスの不便な点、または利用しない理由は何ですか。

※下記の該当する番号に○（いくつでも）

①バス停が遠い ②時刻表通りに来ない ③ダイヤがわかりにくい
④運行本数が少ない ⑤始発便の時間が遅い ⑥最終便の時間が早い
⑦待合環境が悪い（ベンチや上屋など） ⑧運賃が高い ⑨目的地まで時間がかかる
⑩よく行く目的地の近くに停留所がない ⑪運行ルートや時刻表、乗り場が複雑でわかりにくい
⑫Suica などの IC カードが利用できない ⑬車両の乗り降りがしにくい・段差がづらい
⑭鉄道との乗り継ぎがしにくい ⑮他のバスとの乗り継ぎがしにくい
⑯徒歩・自転車で出かけられる ⑰家族や友人に送迎を頼める
⑱ドライバーが不親切 ⑲車内が混雑し、座れない
⑳その他（ ）

問3-4 路線バスの満足度について、教えてください。 ※下記から該当する番号に○(それぞれ1つ)

運行全体	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満
待合環境	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満
所要時間	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満
乗務員の対応	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満

問4 【問2-2で「鉄道」を1つでも選択した方】にお聞きします。

問4-1 鉄道の満足度について、教えてください。 ※下記から該当する番号に○(それぞれ1つ)

駅施設(送迎駐車場の過不足など)	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満
待合環境	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満
バリアフリー設備 (エスカレーター・エレベーターなど)	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満
最寄り駅までの移動手段	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満

問4-2 駅(学校最寄り)から、学校までどんな交通手段で行けますか。

※下記の該当する番号に○(いくつでも)

①路線バス	②バイク	③自転車	④徒歩のみ	⑤その他()
-------	------	------	-------	---------

問5 【問2-2で「車による送迎」を1つでも選択した方】にお聞きします。

問5-1 車による送迎をしてもらう主な理由と送迎先を以下の選択肢からそれぞれ選び各欄にご記入ください。 ※送迎理由：該当する番号をいくつでも記入、送迎先：該当する記号を1つ記入)

【記入欄】

	登校時	下校時
送迎してもらう理由	(例)①、②	(例)⑦
送り先・迎え先	(例)①	(例)④

【選択肢：送迎理由】

①車通勤の家族の通勤方向と同じ	②自宅から最寄りバス停(または駅)まで遠い
③バスや鉄道を乗り継ぐことが難しい	④公共交通の待合環境(上屋、ベンチ等)が悪い
⑤路線バス等の経路が長い	⑥公共交通は遠回りになる
⑦始発のバス・電車の時刻が遅い	⑧帰りの時間帯のバスがない
⑨バスや鉄道の運賃が高い	⑩バスや列車の車内が混雑し、座れない
⑪天気が悪いと自転車などが使えない	⑫その他()

【選択肢：送り先・迎え先】

①長岡駅	②最寄り駅	③最寄りバス停	④学校	⑤その他()
------	-------	---------	-----	---------

問5-2 仮に自宅の停留所から学校へ直通運行するようなバス路線があれば、利用しますか。

①利用する	②利用しない	③わからない
-------	--------	--------

問6 市外への外出についてお聞きします。

問6-1 【長岡市内にお住まいの方にお聞きします。】休日や放課後に、長岡市外へ出かけることがありますか。
また、最も多い市外への外出先とその目的は何ですか。※下記の該当する番号に○（それぞれ1つ）

利用頻度	①週に1回以上 ④年に1回程度以下・全く出かけない	②月に1～2回	③2、3か月に1回程度
行先	①新潟市	②その他（ ）	
目的	①買物・レジャー ④その他（ ）	②部活動	③学習塾・習い事

問6-2 市外へ出かける場合の交通手段は何ですか。 ※下記の該当する番号に○（いくつでも）

①鉄道	②県内高速バス	③路線バス	④家族などの送迎	⑤バイク
⑥その他（ ）				

問7 路線バスや鉄道等の公共交通についてお聞きします。

あなたの公共交通などに対する考え方に近いものをお選びください。※下記の該当する番号に○（いくつでも）

■公共交通の利用について

- ①友達と話したいので、なるべく、路線バスや鉄道等を利用している。
- ②1人で移動できるので、路線バスや鉄道等を利用している。
- ③親が運賃（定期代）を出してくれるので、路線バスや鉄道等を利用している。
- ④親や家族が送ってくれるので、路線バスや鉄道等を利用していない。
- ⑤1人の時間を持ちたいので、なるべくなら、路線バスや鉄道などに乗りたくない。
- ⑥混みあう空間が嫌なので、なるべくなら、路線バスや鉄道などに乗りたくない。

■公共交通の維持について

- ①家族による送迎は、公共交通を利用するより家族と会話をする大切な機会である。
- ②車の免許を取得したら、公共交通はほとんど使わないと思う。
- ③公共交通は必要だと思うので、多大な経費がかかっても維持していくべきだと思う。
- ④公共交通は必要だと思うが、多大な経費をかけて維持することは、慎重に考えるべきだと思う。

■公共交通と高校生活について

- ①公共交通が不便※なので、自宅から行きやすい高校を選択した。
- ②公共交通が不便※なので、学校の寮（アパート含）に住んでいる。
- ③公共交通が不便※なので、部活動の参加に影響した。
- ④特になし。

※不便：時間がかかる、始発で間に合わない、最終便が早く間に合わない 運賃が高いなど

問8 その他、市の公共交通に関してご意見があれば、自由にご記入ください。

--